

911.9
八
上

序

見島氏胤矩一川のふい
負九よりわく時と解
落のけし存歌をうそひ
ごありき今計能
浩去極のうろちあふ所
日るゆゑもさかあか
えりふハ巾傘うろちんれ
ひ草をとめやうちりて
とく巾傘があつたに
きつかりようはともひまた
おもひすかれをさう
こころを思ふこともうなれ

序

見島氏胤矩一川の名ハ

負九よりわくし時より離

格のはく存歌くをひく

くありきく金今叶能

格去極のきくありて

日くありきくもよりあり

えりきく筆くありて

ひきききききききき

く筆かありて

きくきくきくきく

きくきくきくきく

きくきくきくきく

加角一に賜ふ

京保二乃也

浪花

稚少文才磨

誹諧通俗志

○凡例

字數玄嬌ハ噺草と宗と。て数原抄ハ
附下紙之新式款新式今案より入振
新式を以テ出枝葉ハ余より一
同答之并當條の條ハ通せん考ハ
宗通條の抄寫と讀て隨之

ホト等々各々ホトトでホの字と
盡てその處を又一事ホホの字と
設てその處を又一事ホホの字と
其一件ハ附て可考之

付字ハ名而名字ホの付字ハホ
字ハホと名而ホの付字ハホ
二の四なり名而の時ハ二の外ホ
場の名なりハ三ホと一塩田ハ在る

三句をいへぬ小龍井のありは面をきく
龍井の六句といへ三句をいへぬも代
るゝ然りゝ面をへゝ字小龍井はこ又
句小龍井をわり連歌のはあり三句小
龍井をて御すゝに

一二三四八ト字の龍井をいへるの
教へて龍の時ハ二句三句五句七句と
句の字を並て合之句の字のまきハ
字教のゝと知へ

式ト式小をいへる二のおハ二の内を
折をいへるおハ八の内をて面をいへる
まのおハ五句をてまの格式おはと
短をいへる他推之

字をトハ三句をいへる面をいへる
まをいへる二句をいへる五句をいへる

龍井のおも推之ト式を

龍井ト折龍と短をおと龍井のおハ

付てハ不若之二句をいへるおハ付句を

付てハ不若之二句をいへるおハ付句を

付てハ不若之二句をいへるおハ付句を

付てハ不若之二句をいへるおハ付句を

付てハ不若之二句をいへるおハ付句を

付てハ不若之二句をいへるおハ付句を

付てハ不若之二句をいへるおハ付句を

付てハ不若之二句をいへるおハ付句を

付てハ不若之二句をいへるおハ付句を

付てハ不若之二句をいへるおハ付句を

付てハ不若之二句をいへるおハ付句を

付てハ不若之二句をいへるおハ付句を

付てハ不若之二句をいへるおハ付句を

和名姓と片くみ付と云く入る所多く
片くみハ通俗の處之類古語に於て

訓小四も如ハ音も四も百千の字の
ありハ訓音にてハ面云々又ハ如ハ
一文字の如くハ訓音にてハ七夕を音の
教と知へき時ハ訓小付て知へ又云
訓音共小教の内のも二文字が十文
字との如くハ訓音の所ある教の内
教の内のお砂も如ハ言内門ニ處分置
き^{ヲト}子^{ヲト}系字の如き音^ニ行生出之

字音の時砂も如ハ音置之や
時々の原におゆる系本の上又原の如く
一勾食におゆるハ系字と指さく如
水也ることを知る又魚鳥獸の如く
體類なるハ生れおるに水也る如く

か、二三四の数のおぼろけ

おぼろけ^ト おぼろけと三のおぼろけ又二のおぼろけ

極む^ト 木の時ハ木の数を三句と

木の数を二句と^ト木の時ハ木の数を二句と極む^ト

木草共ニ句と

非尺^ト 釋教ハ極む^ト非の時ニ

麦の字を省く^トハ尺遠くせま^ト極む^ト

非律 非人 おのれ有^トハ^ト又

尺の字を省く^ト尺不^ト尺^トハ^ト

余無^トハ百約^ト極む^ト同極^ト又^ト

次と云^ト極む^ト極む^ト

○ハ中^トハイロハの字と入^トハ^ト極む^ト

和名^トハ片^トハ^ト極む^ト

片^トハ^ト極む^ト

訓^トハ^ト極む^ト

お^トハ^ト極む^ト

一^トハ^ト極む^ト

教^トハ^ト極む^ト

訓^トハ^ト極む^ト

字^トハ^ト極む^ト

教^トハ^ト極む^ト

字^トハ^ト極む^ト

時^トハ^ト極む^ト

一^トハ^ト極む^ト

水^トハ^ト極む^ト

時^トハ^ト極む^ト

時^トハ^ト極む^ト

世に口立圖をなひ事と編とを今能得
の欲矩とも統とも大徳のふりて目と
ゆりて又松永貞徳をなす事を作て
温故の理を慕いふとも元氣の益ええに
元禄比の教の集はる事のまじき候ふ
擇して増補をなれは當時の弊を正し
悉書と再時ハ何をも以て正とすきん
書るまふなり一書まで不載之

誹諧通俗志卷上

○言語

体

色字をて聖山摘尋田木の上

ふて秋季と稱せらるる字の字、只二

紅朱丹赤青綿ふらふと

不付又句のふらふ一紅紫二百

。色好と神のふらふ。色好と神の

今字をて。今字をて。今字をて。

。今字非名。今字非名。今字非名。

いづき。神祇。非君。神祇。非君。

忌作。忌作。忌作。忌作。忌作。

。忌作。忌作。忌作。忌作。忌作。

。忌作。忌作。忌作。忌作。忌作。

。忌作。忌作。忌作。忌作。忌作。

をいへとも意述格曰字曰字
等ふむりて和漢の連歌の式のあり
は四ののろろすハ能詩の一番ありて
その源を又宗祇師の能詩とて
又龜以て天文の比守武宗能詩と
以て世小唱ハ能詩の中興なりと
中口立圖をひきまを編とて今能詩
の歌詠とも能とも大徳のよりて月と
ゆりね又松永貞は老れふ余をて作て
温故の詩を著しといふも氣彩の益ええに
元禄比の歌の集ハ余のを能とも信ふ
撰して増補をされハ當時の能ふとて
悉書を月時ハ何を以て正とすきん
書るきおあり一書まで不裁之

俳諧通俗志卷上

○言語

体

色字をて聖山情事田木の上
おて秋季とせしつるこの字、只二
紅朱丹赤青綿ふりふと
不付又句ふりふ一紅紫二白
。色好之神のふ木を之。色好之
今字をて。木けさあ。木不
。今又非名。梅列の今又名之
いづき。神祇之非君。梅之
忌作。忌さる。共神祇之難
。紫祇。神祇之。梅之。梅之
。此歌のふいふハ尺素之をて
生人一生を一生を一生を一生を

ひまる あり おろ 命 木ニ
るま する 不 燈 付字ニ

生 賢 祇 祇 生 祇 越 越
放生 祇 祇 八月 水 生 生

越 越 放生 川 八 名 不 之 祇 非 生

命 二 述 懷 之 初 おろ 生 祇 二 之
命 玉 の を 折 云 好 命 二 句

命 八 人 畜 共 折 之 畜 之 命 玉 の を 折
。 意 の 命 八 非 述 とい へ 人 二 の 内 之

い 折 一 二 之 若 之 之 之 之 之 之
古 代 古 今 亦 一 折 一 之 折 云

古 代 古 今 亦 一 折 一 之 折 云
イフキノミヤ 竹 の 定 共 云 伴 勢 の 名 不 之

祇 祇 之 い せ と か も と 訓 と 音 と
多 り 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一

竹 の 文 亦 八 又 余 奥 亦 一 一 一
。 祇 王 八 い せ か も の 通 移 之 非 石

。 祇 王 の 馬 付 内 の 七 言 外 の 七 言
。 之 之 延 延 式 亦 一 一 一 略 之

伴 勢 の 祇 内 外 の 文 亦 亦 亦 亦 亦
い せ 亦 び い せ 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

祈 祇 一 の 一 一 一 一 一 一 一 一 一
。 但 泊 船 と 毛 條 を い の 一 一 一 一

山 伏 の 月 日 月 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦
。 亦 亦 祇 祇 之 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

天 磐 機 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦
。 亦 亦 二 一 非 山 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

。 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦
。 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

土砂 白剛砂ホニセウ 和名以波

根の入うと云ふと云はうと云ふ

岩橋 非山 舊城の岩橋山麓に非水

岩石 石に越地屋ニウ 岩橋非石

岩木 越地屋ニ 岩和名以八保

田 岩 付字三ウ

石 二名を付て二ウ 岩形 音ハ面

付字三ウ

土砂 音ハ面

石 二名を付て二ウ 岩形 音ハ面

付字三ウ

砂 別 和名ニウ 和名以之快惠

石 二名を付て二ウ 岩形 音ハ面

付字三ウ

池 只二名を付て二ウ 付字三ウ

池田 岩の灰ニウ 和名以之快惠

和名以之快惠

泉 一 麦ノ水ニウ 泉 音ハ面

付字三ウ

泉 和泉 泉川 泉 音ハ面

付字三ウ

水 水ニウ 泉 音ハ面

付字三ウ

泉 和泉 泉川 泉 音ハ面

付字三ウ

泉 和泉 泉川 泉 音ハ面

付字三ウ

家とある尺素之君に裁短あり

家とてとすれハ右而之_ニ

家民之居不越姓家也非希共家也

○ 家の子 居不_二 欺_一 子_三 三_二 月_一 家_二 到_一

唐いかにあり一人一石をく

田畑の房、石不載、和名伊保

○あん号ハあん^ニい^ニか^ニお^ニま^ニち^ニ号

陸号 木而七折生 (テ) 竹字三勾

板
四
板
戸
板
目
木
四
の
門
之

小世也八面板屋板底八本居而

板房板發八居下越越
付字三

軍 只一屯軍二之屯軍八正花之

舍戰二於軍法一木於玄

市只二石而二之於五付字三句

市俗市の非居 市女非迄

久遠之訓
力訓
吾人七夕

一門一統一族以分皆非人

字玄之 訓喜るふそへふ

入日一夕_二面_一夕_二時分_一二_二夕_一

輕時分ハ不妊。入月一夜分ハ

久時分久
短時分久

入
枉
逢
快
望
白
種
不

字彙
訓 音うなりて二万七

○ 初日 一 朝時分 二 夕 夕時分 三 不曉

月一 月八 又五

電
孰
非
天
夜
當
而
玄

光の字ニ七句
銘ニ不照

孤妻
秋心
夢分
之電
打雷
不婚

猶素二句玄
非天極

一秋之綿系棉莖生綿

けり一夜三折をく 付字三

いむむ一乃非夜居 誤く多し

いまたの重 非夜 凡作之

穠質を 秋之誤く多し 此語亦ハ

是ホハ誤く多し

芋 一芋虫 一芋茎 一ハ秋之

蔓 一秋之誤く多し

徳 一水虫 一火作之

術士を不付 亦ハ不短

いり 難く 綱雪 綱川 裂乾

小いり けり秋之 和者以和之

大 一非夜 狗子 一太ねホニ

大非も折 成一面 付字面

乾 方角 一成も変も 一但

一ハ取ホてハ折るて

飯 飯徒ホニ 食一折

小せわハ面 付字三句 和者伴比

系 久て四 小せわハ面 付字三句

系 作 系 面 付 三句 爰徒折

一系 系 面 付 三句 爰徒折

女 妻 妾 女 房 面 玄 ㊦ ㊧

妹 并 も二の内 付字面

息 一生 終 一折 小せわ 一面

一 二 一 七 一 一 非 述

一 二 一 一 一 一 一 一 一

一 二 一 一 一 一 一 一 一

一 二 一 一 一 一 一 一 一

一 二 一 一 一 一 一 一 一

一 二 一 一 一 一 一 一 一

一 二 一 一 一 一 一 一 一

一 二 一 一 一 一 一 一 一

いぬる 人一生に三度之行^ニ成^ニる
いごふ^ニ 天^ニよふや^ニふ共^ニる
いづく^ニ かくて^ニ 業^ニ裁^ニる

いふ 字^ニま^ニく 云^ニ君^ニ付^ニま^ニく

てふ 言^ニ討^ニ候^ニお^ニ二^ニ句^ニま^ニく ②

あ 字^ニま^ニく 何^ニも^ニい^ニつ^ニま^ニく

いづく^ニい^ニる^ニん^ニも^ニい^ニつ^ニお^ニ有^ニ句^ニま^ニく

いづ^ニわ^ニ二^ニい^ニつ^ニう^ニ二^ニい^ニつ^ニ何^ニの^ニれ^ニ二^ニる

いづ^ニち^ニ二^ニり^ニく け^ニふ^ニま^ニ二^ニる

何^ニい^ニつ^ニい^ニま^ニい^ニる^ニん^ニも^ニお^ニの^ニれ^ニ二^ニる

いづ^ニち^ニ七^ニ句^ニま^ニく^ニい^ニふ^ニい^ニつ^ニい^ニん^ニホ

何^ニり^ニ 何^ニも^ニい^ニる^ニん^ニも^ニい^ニつ

い^ニく^ニい^ニま^ニい^ニふ^ニけ^ニれ^ニま^ニ二^ニる

い^ニふ^ニん^ニも^ニ又^ニ推^ニく

い^ニふ^ニせん^ニ上^ニの^ニま^ニま^ニ二^ニく^ニト^ニ不^ニ留

い^ニく^ニせん^ニ留^ニり^ニ二^ニく^ニ上^ニハ^ニ不^ニ留

二^ニま^ニの^ニ内^ニま^ニて^ニ句^ニの中^ニ今^ニ一^ニく

い^ニつ^ニて^ニま^ニ非^ニ極^ニ ① 左^ニ二^ニく

あ 二^ニく^ニお^ニま^ニ二^ニる ① い^ニて^ニ二^ニく

い^ニさ^ニふ^ニ 誘^ニ二^ニる^ニ ① い^ニさ^ニ二^ニく

い^ニさ^ニふ^ニ 年^ニ二^ニる ① 恵^ニ二^ニく

い^ニり^ニける^ニま^ニ二^ニる ① 未^ニ二^ニく

い^ニび^ニき^ニ 世^ニ不^ニ留 ① い^ニま^ニ二^ニく

い^ニび^ニき^ニ 世^ニ不^ニ留 ① い^ニま^ニ二^ニく

い^ニび^ニき^ニ 世^ニ不^ニ留 ① い^ニま^ニ二^ニく

い^ニび^ニき^ニ 世^ニ不^ニ留 ① い^ニま^ニ二^ニく

①

い^ニび^ニき^ニ 世^ニ不^ニ留 ① い^ニま^ニ二^ニく

系する非 難に極む 非非

三名の系は非にさ 各式は

花 字ハ字玄く 正花ハ四く

一折一本花正花定てさる

音 正花四中の内く

むの付白く月一 月名の季を不付

かすに折を極へ 白付の上あ

む 極セ白き 極むはあて不付

む 極付る時ハ白とさるにむ

○花 吉時と不付 若むむハ不苦く

月 蟻拾萩 文様すハ准之

む 一系を極ふ白く折極へ 一系を極ひ

名不を極ふ白く又准之月むハ一

あまの白く是花とむハあむ

花の白 人の季ハ七方玄カ二

○むの白 雪山とさる 峯嶺も非旅

むの白 極極木の名むの白ハ面く

○むの白 極極木の名むの白ハ面く

○むの白 極極木の名むの白ハ面く

○むの白 極極木の名むの白ハ面く

○むの白 極極木の名むの白ハ面く

○むの白 極極木の名むの白ハ面く

○むの白 極極木の名むの白ハ面く

○むの白 極極木の名むの白ハ面く

○むの白 極極木の名むの白ハ面く

○むの白 極極木の名むの白ハ面く

○むの白 極極木の名むの白ハ面く

○むの白 極極木の名むの白ハ面く

○むの白 極極木の名むの白ハ面く

○むの白 極極木の名むの白ハ面く

○むの白 極極木の名むの白ハ面く

。む摘館む

美草のむ 草む

。む郭公路ふむ水室のむ若菜に

ゆりむ二草むみくはふ本植物に

。花火花の蒲秋之萩ふ之餅むハ

みくはふ三草ハ桂む二餅とゆふく

他のもふ花と萩ふす准之

。萩の正花のみ。二句の植物に

。むろと非生

。かのも萩ふく

。花瓶

花浴ハ音なり

。正花に

むゆり 花ふらぎ作りむむぐさ

右のみ 一句の正花類に

。花紅葉 四時のもハ類に本植物に

。ふせ地のみ

非正花、非植

雪のむ 辰のむ

萩花

火花

水のお湯

葉の湯者

む子のねえ

花一子おふのむふ者のむも雪に

むすり衣ハリ倍ハ大椒葉むに

右之方一隅と果するのこ

花時 花壇地のむ雪秋葉之非正花

眠するむハ赤棠

むの兄ハ柳

四ののむハあさみ

むの才ハ葉

花の宰相ハ芍薬

むの王ハ牡丹

末摘むハ紅む 是又大椒と犯ス

花山 名雨に非草非植非正花

句 三草非名時ハ正花に本植物に

むろく 麦く水にふふおに

花のやし 尺麦に 非正花非植

。本名優帽子

。ふ草の海色に

む田の草ハあ非正花若類に

。作

一秋くあも秋く 花山作麦

指^ニお^ハ指^ハお^ハ びる^ハハ非^ハ族

桓^ハ 一 名^ニと^ハ付^テ一^ハ非^ハ名^ハお^ハ世^ハ也^ハ也^ハ

肌^ハ 一 膚^ハ 一^ハ肌^ハ名^ハ肌^ハ事^ハお^ハ一^ハ

刀^ハ材^ハ消^ハあ^ハ内^ハ一^ハお^ハ一^ハお^ハ名^ハ波^ハ天^ハ倍

。う^ハこの^ハ事^ハあ^ハく^ハ非^ハ衣^ハ夜^ハ名^ハお^ハ也^ハ也^ハ

暖^ハ 一 腹^ハを^ハ振^ハあ^ハお^ハ一^ハ生^ハ乳^ハ一^ハ

。せ^ハお^ハあ^ハの^ハ音^ハを^ハ一^ハ兄^ハ才^ハ非^ハ人

鼻^ハ 一 大^ハを^ハ使^ハ一^ハ鼻^ハ張^ハる^ハ毛^ハお^ハ一^ハ

生^ハ乳^ハ一^ハの^ハ事^ハお^ハく^ハと^ハ白^ハいと^ハ不^ハ付

歯^ハ 一 牙^ハ一^ハ生^ハ乳^ハ一^ハお^ハせ^ハお^ハあ^ハの^ハ

鉄^ハ漿^ハハ^ハ二^ハ句^ハを^ハ一^ハ鉄^ハ漿^ハハ^ハ二^ハ句^ハを^ハ一^ハ

孕^ハ 一 産^ハ一^ハ 九^ハの^ハ地^ハの^ハう^ハく^ハ又

生^ハ乳^ハの^ハ事^ハも^ハ二^ハの^ハ心^ハを^ハ一^ハお^ハハ^ハあ^ハく

お^ハ 一^ハち^ハの^ハ一^ハ名^ハの^ハお^ハ一^ハお^ハ第^ハお^ハ一^ハ

う^ハが^ハい^ハう^ハく^ハう^ハう^ハお^ハも^ハお^ハれ^ハを^ハ一^ハ

契^ハハ^ハ二^ハ句^ハを^ハ一^ハお^ハお^ハお^ハの^ハ付^ハ字^ハ三^ハ句

お^ハく^ハハ^ハ二^ハ句^ハを^ハ一^ハお^ハお^ハハ^ハ二^ハ句^ハを^ハ一^ハ

鳩^ハ 一 杖^ハ狗^ハお^ハ一^ハ鳩^ハ奉^ハ鳩^ハお^ハく^ハお^ハ

。鳩^ハ吹^ハ秋^ハの^ハ風^ハ体^ハの^ハ説^ハく^ハ多^ハ一^ハ

蛇^ハ 一 麦^ハの^ハさ^ハを^ハ一^ハお^ハハ^ハ二^ハ句^ハを^ハ一^ハ

お^ハも^ハお^ハく^ハて^ハる^ハく^ハ 和^ハ名^ハ波^ハ内^ハ

鳩^ハ 一 粟^ハも^ハ麦^ハの^ハ贏^ハ又^ハを^ハ一^ハ 付^ハ字^ハを^ハ一^ハ

哈^ハ 一 難^ハの^ハ哈^ハお^ハハ^ハ二^ハ句^ハを^ハ一^ハ 哈^ハを^ハ又^ハを^ハ一^ハ

ハッ^ハ 非^ハ山^ハ水^ハ。ち^ハと^ハ産^ハの^ハハ^ハ二^ハ句^ハを^ハ一^ハ

お^ハハ^ハ二^ハ句^ハを^ハ一^ハお^ハハ^ハ二^ハ句^ハを^ハ一^ハお^ハハ^ハ二^ハ句^ハを^ハ一^ハ

始^ハ 四^ハの^ハ音^ハ四^ハの^ハ川^ハ音^ハう^ハり^ハて^ハ也^ハ也^ハ

お^ハく^ハう^ハお^ハハ^ハ二^ハ句^ハを^ハ一^ハお^ハく^ハう^ハお^ハハ^ハ二^ハ句^ハを^ハ一^ハ

お^ハ 四^ハの^ハ音^ハ四^ハの^ハ川^ハ音^ハう^ハり^ハて^ハ也^ハ也^ハ

お^ハ 四^ハの^ハ音^ハ四^ハの^ハ川^ハ音^ハう^ハり^ハて^ハ也^ハ也^ハ

お^ハ 四^ハの^ハ音^ハ四^ハの^ハ川^ハ音^ハう^ハり^ハて^ハ也^ハ也^ハ

お^ハ 四^ハの^ハ音^ハ四^ハの^ハ川^ハ音^ハう^ハり^ハて^ハ也^ハ也^ハ

第一^ハ名^ハの^ハ第一^ハの^ハ付^ハ字^ハ三^ハ句

梅 一 名の梅 一 尺長の梅、二の内之

第一 慧星 ハッキ
第二 苦行 ハツキ

第 和名波々木 彗星ハ木保之

計
心計一
大て減二
倍の拘三
入

什子
什子
お二
之坊
く小
世お
六
重

榜
一
促織
秋之虫之面玄

族ハタ一
族ハタ宅ハタ一
法の懐ハタ一
零れち

族本又主一棧不煙。

第一卷の著一ノ句

判只判死判木又之判

沈判 評判 夢を判すお二之

灰 一名の灰一又火煉之灰汁イロク也

一衣乾之小世也。二之乃玄

法
爲
一
法
一
頭
一
之
之
之

神ひき八法之 神志八歌之

○ 呻吟 尺蠖之冬之蛰之非人

夏商 人傷之 大工 非人

博士人儀之伯。禾月々ち打非人。

祝子祚我人倫之子二句

松島三子元付とて是し

とち聖なる泉地なる市あり

謀ハカリユト計ハカレ面ハカル斗ハカル量ハカル云ハカル方ハカル

予不付量^{カル}推是之計^{ハカ}ハズ

むろ
七夕を
通し
り。許の
定

計斗謀星のまゝて不始

○右余云謀斗木三夕玄法也獨力

月一巻

琴りて去るを惜みたり

東坡云：中如天上宮，一

[illegible]

早 字をく んやとつゝの 不始

んやとつゝ二 不始 何句

晴 不始 降地の晴ハれ

るや 不始 何句 二句をりハ

を 不始 何句 二句をりハ

るや 不始 何句 二句をりハ

ハ 七句をりハ 何句 二句をりハ

極 秋 何句 二句をりハ

吐 一 何句 二句をりハ

果 何句 二句をりハ

歌 八 何句 二句をりハ

遙 二 何句 二句をりハ

拂 四 何句 二句をりハ

お 言 何句 二句をりハ

場 何句 二句をりハ

張 何句 二句をりハ

尔

綿 一 何句 二句をりハ

色 何句 二句をりハ

綿 不始 何句 二句をりハ

白 一 何句 二句をりハ

香 何句 二句をりハ

おや 何句 二句をりハ

庭 二 何句 二句をりハ

あ 何句 二句をりハ

場 何句 二句をりハ

庭 何句 二句をりハ

庭 何句 二句をりハ

燎

その林燃之類に非居る也

燎

居る也 越然非水也 而水一石

一

況る海の水と云 又俄海と云

場

二音 二む四のりてハ其面

市

軍は細くふてハ皆非居

の

ふてハ其面と云 此の處あり

西

二音 二む 付字三石

虹

非天非生非佛 此虹と云

胡

名一石 二む 不物

多

二音 二む 二ハ 不物

香

一音 二水と云 葉も非に

い

二音 二む 二ハ 保

鶏

一石 二音 二む 二ハ 保

有

二音 二む 二ハ 保

八

二音 二む 二ハ 保

和

二音 二む 二ハ 保

矮

二音 二む 二ハ 保

鷄

二音 二む 二ハ 保

多

二音 二む 二ハ 保

和

二音 二む 二ハ 保

鷄

二音 二む 二ハ 保

面

二音 二む 二ハ 保

贅

二音 二む 二ハ 保

又

二音 二む 二ハ 保

黄

二音 二む 二ハ 保

黄

二音 二む 二ハ 保

荷

二音 二む 二ハ 保

白

二音 二む 二ハ 保

眼

二音 二む 二ハ 保

張

二音 二む 二ハ 保

苦ニカヘ

二并

和名亦比

ふまにくハ折舎とて不始

りぬおのこゝろのゆは及びん

○外郎の愛勺ハオニニふみ

五ノミテ苗リト世に

ふりか二句迄すはそごうして変

ふー
けてふえ二句を
てふて二字

二勺之表八勺也

ニなるハ月字のまひなり

入乃人愛之非人

似
人
の
方
▲
隅
り
て
三

人生一握

人召非人

鐵四

保

穂 只 一 名のふ 一 不也ふ 一 不也作 一

小世物八面 亦長亦儀 壽之 付子三句

德屋化秋之祚祗之極也哉

牡丹 一 葵名 一 葵之根 一 葵之根 一 葵之根

紙のやうな花の王 花言葉

かうこそ 名より 子 面 笑 子 一 笑 名 之

郭公
吳君
一
今之

号花鹿 秋月 亦能之 爱之

海生う桑うまの字の弦（下）

高き車より高く振る時のき

今でも、四十年の出来
杜宇、杜宇

不如曠蜀龍
坐常為
小兒名之

畫一
非水
畫一

あふまゝくも ねふくまゝく

火串 ^{ホクリ} 麦くまふく灯の如く 藤の

くく大七也 照村 ^{モリ} おく生れ不短

星一 名の星一く 天象くねふく

星仙 星佩 ^{ホリ} ちかて又ち

長庚 ^{チガフ} セタホ如く おせ如く

星と唱 星仙 吾 ^{ナニ} ちかて 星佩 ^{ホリ} ちかて

。星の林非極。星の位非夜天

星月夜 ねふく 雲の月を不短

いの比より 神 ^{カミ} 俗 ^{ソコ} ふく ねく

名取の時 非夜天 付字如く

佛一 不 ^フ け性 ^{セイ} 石 ^{イシ} 如 ^ニ 又音 ^{ナニ}

くて二く 吾 ^{ナニ} ちかて 如 ^ニ 来 ^キ 奇 ^キ 如 ^ニ

に下 ^カ 法眼 ^{ホフガン} 法橋 ^{ホフキョウ} 俗官 ^{ソコカン} 如 ^ニ

まゝく 不 ^フ 短 ^{タン} の 法 ^{ホフ} の 俗官 ^{ソコカン} 如 ^ニ

の法神 法師 尺 ^{シツ} 如 ^ニ 非人 ^{ヒニン}

布袋 尺 ^{シツ} 如 ^ニ 非人 ^{ヒニン} 如 ^ニ 不短

多 ^タ 多 ^タ 八 ^{ハチ} 秋 ^{アキ} 尺 ^{シツ} 如 ^ニ 九 ^ク 如 ^ニ

急 ^{キツ} 如 ^ニ 同 ^{ドウ} 如 ^ニ 如 ^ニ 如 ^ニ

かへー 吾 ^{ナニ} 又 ^{マタ} 如 ^ニ 如 ^ニ 三 ^{サン} 如 ^ニ

洞 ^{ドウ} 二 ^ニ 名 ^ナ 如 ^ニ 三 ^{サン} 山 ^{サン} 如 ^ニ 如 ^ニ 洞 ^{ドウ} 又 ^{マタ}

如 ^ニ 洞 ^{ドウ} 疎 ^ソ の 洞 ^{ドウ} 其 ^{ソノ} 仙 ^{セン} 洞 ^{ドウ} の 如 ^ニ

過 ^カ 四 ^シ 如 ^ニ 如 ^ニ 如 ^ニ 如 ^ニ 二 ^ニ 如 ^ニ

堀 ^{ホリ} 二 ^ニ 名 ^ナ 如 ^ニ 一 ^{イチ} 洞 ^{ドウ} 如 ^ニ 付 ^{ツキ} 字 ^ジ 二 ^ニ 如 ^ニ

掘 ^{ホリ} 二 ^ニ 如 ^ニ 二 ^ニ 如 ^ニ 如 ^ニ 又 ^{マタ} 如 ^ニ 一 ^{イチ}

帆 ^ホ 一 ^{イチ} 帆 ^ホ 如 ^ニ 二 ^ニ 如 ^ニ 不 ^フ 短 ^{タン} 又 ^{マタ} 如 ^ニ 如 ^ニ

骨 ^{ホネ} 一 ^{イチ} 生 ^{ナニ} 如 ^ニ 一 ^{イチ} 急 ^{キツ} 如 ^ニ 一 ^{イチ} 氣 ^キ 骨 ^{ホネ} 如 ^ニ

埃 ^{ホコリ} 一 ^{イチ} 埃 ^{ホコリ} 用 ^{ヨウ} の 如 ^ニ 如 ^ニ 又 ^{マタ} 如 ^ニ 一 ^{イチ}

如 ^ニ 二 ^ニ 如 ^ニ 如 ^ニ 一 ^{イチ} 如 ^ニ 如 ^ニ

如 ^ニ 二 ^ニ 如 ^ニ 如 ^ニ 一 ^{イチ} 如 ^ニ 如 ^ニ

如 ^ニ 二 ^ニ 如 ^ニ 如 ^ニ 一 ^{イチ} 如 ^ニ 如 ^ニ

如 ^ニ 二 ^ニ 如 ^ニ 如 ^ニ 一 ^{イチ} 如 ^ニ 如 ^ニ

不
字を以て余不
不煙虎不の不
不

その明 冬之非夜 明の字ニ三句

大嘗會の時 皇紀の良辰 主基ハ己

その内務以後又帝の年也 是時ニ

面一 詔有ニ 非人 而作有町ホニ

居有ニ 陽有勝有ニ といふ皆有也

○ 有中 有有ホ 居有のハ 有居有ハ

面有又 抄有 有有ホハ 非居有作

ホニ 面有有のハニ 三句 有有ニハ 不有

○ 泉有勝有居有 越有ね有津有

○ 有有案 官有有有ニ 有ニ 面

宿有 有有ニ 非居 非人 主有案 有

居有のハニ 三句 有有ハ 人有ニ 非居

有 有 有 有ニハ 共 有ニ

有 有 有 有ニハ 共 有ニ

有 有 有 有ニハ 共 有ニ

有 有 有 有ニハ 共 有ニ

有 有 有 有ニハ 共 有ニ

有 有 有 有ニハ 共 有ニ

有 有 有 有ニハ 共 有ニ

有 有 有 有ニハ 共 有ニ

有 有 有 有ニハ 共 有ニ

有 有 有 有ニハ 共 有ニ

有 有 有 有ニハ 共 有ニ

有 有 有 有ニハ 共 有ニ

有 有 有 有ニハ 共 有ニ

有 有 有 有ニハ 共 有ニ

有 有 有 有ニハ 共 有ニ

有 有 有 有ニハ 共 有ニ

有 有 有 有ニハ 共 有ニ

有 有 有 有ニハ 共 有ニ

有 有 有 有ニハ 共 有ニ

有 有 有 有ニハ 共 有ニ

髪路の床非夜 君市^ニ焚燭

△床^ニそ^ニ床柱^ハ 出^ル院の床一の月^ニ

本居^ル也^ニ非夜^ニそ^ニの床^ハ君^ニあ^リ

△床のほ^ニ空^ニ新^ニ床^ニね^ニ床^ニの^ニ野

床^ハ入^ルお^ニ煮^ニの床一の月^ニの^ニ床^ニお

灯^{トモシテ} 只^ニ一^ニ法^ニの灯^ニ一^ニ約^ニの灯^ニ三^ニ火^ニの

和^カる^ニ焼^ニ火^ニの^ニ狐^ニ火^ニ燭^ニ火^ニお^ニ七^ニ火^ニ

篝^カ炬^ニ火^ニ行^ニ燭^ニ燭^ニ臺^ニ挑^ニ灯^ニ燭^ニ心^{トウシ}

短^{フツ}檠^ニ燭^ニお^ニ面^ニは^ニ分^ニ各^ニ和^ニる^ニ

△此^ノ灯^ハ傳^ニ燭^ニ之^ニ非夜^ニす^ニて^ニ神^ニあ

仏^ニあ^ニの^ニ灯^ニ常^ニ灯^ニ十二^ニ灯^ニホ^ニ非夜

燭^{トモシ}心^ニ燭^ニ燭^ニも^ニ合^ニより^ニて^ニ非夜

照^{トモシ}射^ニ 夏^ニ之^ニ和^ニる^ニ 火^ニ串^ニは^ニ抄

麻^ニ灯^ニ面^ニ火^ニ七^ニ火^ニ非^ニ生

子^ニ白^ニ和^ニと^ニ一^ニと^ニ他^ニハ^ニ余^ニ國^ニ又^ニ和^ニス

△^{トモシ}只^ニ二^ニ書^ニの^ニ書^ニ一^ニ之^ニ抄^ニ 燭^ニ燭^ニ面

小^ニ書^ニ村^ニの^ニ面^ニを^ニ君^ニの^ニ書^ニハ^ニ二^ニ火^ニ

う^ニき^ニ祿^ニの^ニ書^ニ水^ニの^ニ書^ニ 色^ニを^ニ和^ニる^ニ後

お^ニハ^ニ小^ニ書^ニ之^ニ皆^ニ面^ニを^ニ 外^ニ法^ニの^ニ

其^ニ石^ニを^ニれ^ニく^ニあ^ニま^ニて^ニる^ニ書^ニハ^ニ二^ニ火^ニを

△^{トモシ}書^ニの^ニ書^ニと^ニく^ニ七^ニ火^ニ燭^ニも^ニあ^ニる^ニ准^ニ之^ニ

た^ニと^ニハ^ニ書^ニの^ニ書^ニあ^ニま^ニた^ニ書^ニの^ニ書^ニあ^ニる^ニす^ニく

あ^ニま^ニ書^ニの^ニ書^ニと^ニう^ニれ^ニハ^ニぬ^ニは^ニり^ニ

△^カ書^ニ書^ニ毛^ニ書^ニ書^ニホ^ニ書^ニ二^ニ火^ニ

一^ニ火^ニ 書^ニ二^ニ火^ニ燭^ニ七^ニ火^ニ

△^{トモシ}書^ニ書^ニ 祇^ニ祇^ニ之^ニ書^ニ君^ニ二^ニ火^ニ燭^ニ七^ニ火^ニ

△^{トモシ}書^ニ書^ニ 書^ニ之^ニ書^ニの^ニ書^ニ書^ニハ^ニ難^ニ

書^ニの^ニ書^ニ 樹^ニの^ニ書^ニ 書^ニの^ニ書^ニ 二^ニ火^ニ

△^{トモシ}書^ニの^ニ書^ニ 文^ニ之^ニ抄^ニ 書^ニの^ニ書^ニ 二^ニ火^ニ書^ニの^ニ書^ニ 二^ニ火^ニ書^ニの^ニ書^ニ

位は折③又字水堂二句

位句よりて字あつたハ不始

又字仕立つる時ハ二句

又字一ひ口一ひ口二句

龍 龍相まゝ一ひ口一ひ口七句

龍 龍相まゝ非水はふき石水龍

龍 一まゝ龍其のこゝに龍

龍 字まゝとち二句を不始

同 字まゝ 訪一吊二句

とまゝめ 此のこゝめハとまゝめ

人のこまめハ時あつた

共 三句まゝ共不始 訪共其の共

又とふたのともまゝとちハ不始

ともまゝめ二句まゝ又隔りまゝ

すれどもいづれハ二句まゝ

共 隔りまゝとちふたのともまゝ

〇隔りまゝとちふたのともハ付句始

と 隔りまゝ二句まゝ又隔りまゝ

訪一吊一ひ一ひ 〇 〇 〇 〇

とまゝめ二句 〇 〇 〇 〇

閉 〇 〇 〇 〇 〇 〇

と 〇 〇 〇 〇 〇 〇

位 〇 〇 〇 〇 〇 〇

月士 〇 〇 〇 〇 〇 〇

位 〇 〇 〇 〇 〇 〇

位 〇 〇 〇 〇 〇 〇

位 〇 〇 〇 〇 〇 〇

位 〇 〇 〇 〇 〇 〇

位 〇 〇 〇 〇 〇 〇

位 〇 〇 〇 〇 〇 〇

位 〇 〇 〇 〇 〇 〇

位 〇 〇 〇 〇 〇 〇

墜一 ぬりおの内ニ 墜師一
墜師もぬりやも 若 歩人

主ニ 二とありニ 共人 ぬくへて 面
塗 一ひと人 ぬすきも又と

ぬすきもハ ぬくへて ぬすきもハ ぬくへて
廢 四とありニ ぬくへて ぬくへて 二と

生れぬりぬりニ 方子 ぬくへて ぬくへて
需 久て四と ぬくへて ぬくへて

ぬると云 ぬくへて ぬくへて ぬくへて
ぬりぬれぬり ぬりぬれぬり ぬりぬれぬり

ぬん 七とあり ぬりニ ぬりニ
ぬりぬれぬり ぬりぬれぬり ぬりぬれぬり

ぬ 半ぬとく 二とあり ぬくへて ぬくへて
ぬ 半ぬとく 二とあり ぬくへて ぬくへて

ぬ 半ぬとく 二とあり ぬくへて ぬくへて
ぬ 半ぬとく 二とあり ぬくへて ぬくへて

ぬ 半ぬとく 二とあり ぬくへて ぬくへて
ぬ 半ぬとく 二とあり ぬくへて ぬくへて

ぬ 半ぬとく 二とあり ぬくへて ぬくへて
ぬ 半ぬとく 二とあり ぬくへて ぬくへて

ぬ 半ぬとく 二とあり ぬくへて ぬくへて
ぬ 半ぬとく 二とあり ぬくへて ぬくへて

ぬ 半ぬとく 二とあり ぬくへて ぬくへて
ぬ 半ぬとく 二とあり ぬくへて ぬくへて

ぬ 半ぬとく 二とあり ぬくへて ぬくへて
ぬ 半ぬとく 二とあり ぬくへて ぬくへて

ぬ 半ぬとく 二とあり ぬくへて ぬくへて
ぬ 半ぬとく 二とあり ぬくへて ぬくへて

ぬ 半ぬとく 二とあり ぬくへて ぬくへて
ぬ 半ぬとく 二とあり ぬくへて ぬくへて

秋之風作之化の香一原秋一

秋の焚香下敷ハ香ノ非ハ香ノ本

成ハ麦之枯ハ香之ヲ有故ハ秋之

原秋秋之水カノ非ハ香ノ風

尾元 秋之枯ノ秋之茂ノ秋

尾花 松尾ホハ尾ニ

袖尾 袖後ノ尾ニ不短

尾 生歌ノ二ノホセハ受ケテニ

尾上 尾ニ上ニ名ホニ上ニ尾ニ

嶽 峯ヲ振山ノミヲ山ホニ

雄 二ノ生歌又ニ生ノ又ニ

男 双ハ虫ノ男ハ双ハ虫ノ略ノ

丈夫男 振鴨牡大ホ双ハ虫ノ

男 生ノ生ノ生ノ生ノ生ノ

雄 二ノ生歌又ニ生ノ又ニ

男 双ハ虫ノ男ハ双ハ虫ノ略ノ

丈夫男 振鴨牡大ホ双ハ虫ノ

男 生ノ生ノ生ノ生ノ生ノ

雄 二ノ生歌又ニ生ノ又ニ

男 双ハ虫ノ男ハ双ハ虫ノ略ノ

丈夫男 振鴨牡大ホ双ハ虫ノ

男 生ノ生ノ生ノ生ノ生ノ

雄 二ノ生歌又ニ生ノ又ニ

男 双ハ虫ノ男ハ双ハ虫ノ略ノ

丈夫男 振鴨牡大ホ双ハ虫ノ

男 生ノ生ノ生ノ生ノ生ノ

雄 二ノ生歌又ニ生ノ又ニ

男 双ハ虫ノ男ハ双ハ虫ノ略ノ

補

一 名の補一之 和名平計

踊

一 秋之又 生れ二 狗泳ホ一之

麦

二之又 産の二之 和名平之閉

游

ホヨク 二之 日二之 魚二之

悟

四之可悟二之 誇二之

及

二之及 裁又二之 犯二之

と

二之 補二之

終

久て 面を 押 字を

和

和田

原 和 田 不 姓 原 三 句

と

二之 折 悔 二之

我

字を 人 傷 吾 双 二之

と

二之 二之 又 日 獨りが 不 姓

△我

名 人 傷 の 外 之 王 皇 二之

○

若 立 仙 名 二之 又 産 二之 山 二之 非 二之

我

り 二之 水 二之 難 二之 二之 二之 二之 秋 二之

昔

妹 子 人 傷 二之 二之

王

産 の 五 姓 五 本 二之 天 子 皇 二之

お

奉 の 五 七 句 明 五 四 天 五 本 二之

若

人 傷 の 上 二之 四 二之 折 二之 二之

上

二之 四 二之 折 二之 初 二之 久 二之 四 二之 折 二之

人

傷 二之 本 二之 生 二之 難 二之 二之 二之 二之 二之 二之

あ

二之 二之 二之 二之 二之 二之 二之 二之 二之 二之

あ

二之 二之 二之 二之 二之 二之 二之 二之 二之 二之

あ

二之 二之 二之 二之 二之 二之 二之 二之 二之 二之

あ

二之 二之 二之 二之 二之 二之 二之 二之 二之 二之

忘

二之 二之 二之 二之 二之 二之 二之 二之 二之 二之

忘

二之 二之 二之 二之 二之 二之 二之 二之 二之 二之

別

二之 二之 二之 二之 二之 二之 二之 二之 二之 二之

忘

二之 二之 二之 二之 二之 二之 二之 二之 二之 二之

二

二之 二之 二之 二之 二之 二之 二之 二之 二之 二之

念 字々々 句より別ニ二句

渡 字々々 水辺の邊ニ面々

後り川衣傷の後一非旅

笑 一之山の笑繩の笑あや二

激 一之字々々一之極也之極也

さうひもさう又候繩あや二

綿 一極也一綿子綿子ホ一

ふせ地ハ面もめんニ句山ホ不短

綿 綿より古綿さう綿さ綿

肘綿ホ等類之綿子綿子しき

かざりの綿さう かけ綿さう

むハ麦之取と吹と新綿あ綿秋

早田 秋之極也之極也すれハ麦之

芝菜 一非極さうさう所ホ二

綿 一之綿の峯尺差之非生山一

綿の尾名所之山終之 付字もり

銕^{リニクチ} 一非生銕の口ハ生終之

さうさうさうさうさうさう

服 一之例の服一服造服造

純の服ホ等類之付字も二句

服 一之服ハ服ハ服ハ服ハ服ハ

服指ニ刀太刀ホ面之 純の服非人

桶 水ニ一湯ニ一 宝鉢ホ一

後 字々々 字々々 字々々 不短

綿 一之綿一級ニ一 敷ニ七句

梳 一之梳一 二之系束

後^{ワタニ} 后^{ワタニ} 裁^{ワタニ} 僅^{ワタニ} 二之

二之きニよきニ句 業^{ワタニ} 二之

二之りるさニ二句 刻^{ワタニ} 字々々

加

数 八之集^{ヨム}ニ^二百^一付字ニ^一百

数字一二百子付ても打越も不^レ始

ニ^二又^一の音ニ^二八^一之訓ニ^二八^一之音と訓

とありて七^一百^二云。ニ^二又^一の音と訓

ニ^二八^一之訓の音^二八^一の音と^二八^一の音と

面^二云。百子^一方^二八^一音^二四^一之訓^二四^一之

訓と音とありて面^二云^一皆付字ニ^二百^一

重^二八^一之^二二^一百^二お^一もき不^レ始

。字^二字^一ニ^二二^一百^二お^一もき不^レ始

との^二字^一と^二字^一とありて^二八^一付て不^レ始

。打越も不^レ始。字^二字^一ハ^二後^一言^二三^一思

景 然^二景^一夕^二景^一妻^二景^一浦^二景^一少^二

りて付字ニ^二百^一景^二景^一は^二三^一思

景^二八^一之^二二^一百^二お^一もき不^レ始

。字^二字^一ニ^二二^一百^二お^一もき不^レ始

との^二字^一と^二字^一とありて^二八^一付て不^レ始

。打越も不^レ始。字^二字^一ハ^二後^一言^二三^一思

景 然^二景^一夕^二景^一妻^二景^一浦^二景^一少^二

りて付字ニ^二百^一景^二景^一は^二三^一思

景^二八^一之^二二^一百^二お^一もき不^レ始

。字^二字^一ニ^二二^一百^二お^一もき不^レ始

との^二字^一と^二字^一とありて^二八^一付て不^レ始

。打越も不^レ始。字^二字^一ハ^二後^一言^二三^一思

景 然^二景^一夕^二景^一妻^二景^一浦^二景^一少^二

りて付字ニ^二百^一景^二景^一は^二三^一思

景^二八^一之^二二^一百^二お^一もき不^レ始

。字^二字^一ニ^二二^一百^二お^一もき不^レ始

二あのみそ 君あに難く非儀

採 ^{カキ} 二くまふ 不姫又句ふん 其あ

風 ^{カキ} ままふ 風炉風花あ二句

ゆふ 嵐 風 車嵐あま君二句

風体ハ二句く 植地のおきき 二句

萩扇 二句く 帆不姫 風まふ

く風あふ 風まふあふまふ

初嵐まふ 秋風ハまふ

樂 ^{カキ} 一糸屋 人ホ二 猿木田木

の月一 吟物 田木ハ 糸二句

云 ^{カキ} 四く 音 四く 音訓 二句

ふと 喝へて 一く ぐ 二句 二句

香 ^{カキ} 一 香炉 香合の月 一 抹香 二句

の月一 香の香 一 香の香 二句

かき 別句 句 芳 臭 二句

人香 二句 句 七句 糸ハ 准之

意 ^{カキ} 一 句 一 糸 二句 一 句

人の 二句 二句 句 臭 二句

臭 ^{カキ} 只一 玄姫ハ 香 二句

芳 ^{カキ} 二句 吟物 二句 二句

杜若 一 句 句 一 句 水 二句

萱 ^{カキ} 秋 二句 句 二句 二句

萱 二句 句 二句 二句 二句

刈萱ハ 二句 二句 二句

所 二句 二句 二句 二句

牧童ハ 二句 二句 二句

蒲 一 句 二句 二句 二句

草 二句 二句 二句 二句

草 二句 二句 二句 二句

草 二句 二句 二句 二句

草 二句 二句 二句 二句

草 二句 二句 二句 二句

西賢木の株

星の極面風方
付字三万

枯木
為地
無地
為地
為地

枯竹枯草 之種を亦一に要す

枯木 雜之 棹也 閑

秋之
楓葉之

柏
報之
若
其之
故
落
八
秋
之

柏掌沐洗
科
名

樹 雜く 樹の花秋の 月の樹のも

月の樹の實の 月の樹のむね葉

皆秋之非極 少事 是之不足

同一月の極のむき非極と

裁より皆也也加う分略、おは

の又玄そふん
そ上桂
繁して

雪の月を拓く 雲之のまゝく 雲

てはまゝに 郭公 弦の 琴の 馬月の 地

むと許す秋之連放祀諸共月

極地三
管地三
夏名一
秋一
乃

條三八五、夏名共秋二之付字三句

榜
秋
心
夏
之
本
德
本
心
榜
案
本
秋

串撈切機木。新之祝飾。今之元日之

かきのたり 非校 きのこのり

信
はくそく
云々
所々
似たり

付於 秋くむハ夏く祝飾ハ元日

橘柚 栲子 宝栴 金栴 雲栴 橘

栲子九尊母 栲殼ハ九粒一尊ハ面

。栲ハ橘ハふて又之ハハむう又

祝飾の月一之(夕)(工)二尊ハ又ハ

櫃 一箱く 栲柚ハの内ニ栲ニ一

新ハハ秋く付ハ三尊 栲若加倍

櫃 白ハ一箱ニ一之き一

設 入て二く 吸ハ 脱ハ 又ハ

葛 一箱く 名の葛一ハ 名ハハハ

栲ハ 髪ハ 髪ハ 名ハ 葛ハ 栲ハ 三

髪 一ハ 能ハ 名ハ 一ハ 髪ハ

髪 一ハ 髪ハ 髪ハ 一ハ 髪ハ

髪ハ 髪ハ 髪ハ 髪ハ 髪ハ

髪ハ 髪ハ 髪ハ 髪ハ 髪ハ

髪ハ 髪ハ 髪ハ 髪ハ 髪ハ

飾 入て四ハ 大飾ハ 内ハ 一ハ

幟 曳ハ 飾ハ 端ハ 一ハ 飾ハ

飾ハ 飾ハ 飾ハ 飾ハ 飾ハ

形 山人 雜 飾ハ 一ハ 飾ハ

形ハ 山人 雜 飾ハ 一ハ 飾ハ

形ハ 山人 雜 飾ハ 一ハ 飾ハ

形ハ 山人 雜 飾ハ 一ハ 飾ハ

草 一尊ハ 草ハ 草ハ 一ハ 草ハ

皮 一ハ 一ハ 一ハ 一ハ 一ハ

面 一ハ 一ハ 一ハ 一ハ 一ハ

頭 一ハ 一ハ 一ハ 一ハ 一ハ

行 飾ハ 飾ハ 飾ハ 飾ハ 飾ハ

行 飾ハ 飾ハ 飾ハ 飾ハ 飾ハ

行 飾ハ 飾ハ 飾ハ 飾ハ 飾ハ

行 飾ハ 飾ハ 飾ハ 飾ハ 飾ハ

行 飾ハ 飾ハ 飾ハ 飾ハ 飾ハ

款 カクキ

一 越かき二 非人 とき ね

肩一塊 （一） 糸束の肩 （二） ね肩 （三） 糸 （四）

肩の裏の肉を
おのれを

肩之玄初至面玄肩脊有節六七為

二又二之倍於之
和若加保

讀みふく
忘るふく
と云物也

二ノ教^ニ之^ニ類^ニ至^ニ存^ニの^ニ藏^ニ至^ニも

五之川後外而亦不嫌付字三百

新文傳二万と通子四

慈父王公島人世ハ冬ノ

○ 子孫
非人

血を
血の毛
果を
以て甚く

休養三石一鉢

い上金入秋ニても二そのたも

一、春秋四の教の心之

社之義

力り力子

[illegible]

永新村

木也

乃の如く三焦の如く云 皮も佳之

○ 乃金ハ 荒文考ニ 二 乃 蜀リケニ 下 佐

○後
一
菱
吟
秋
之
村
之
乃
落
報
三
句

鴨
一名二
小鴨
あらひ
さき
か
と

沈^{タカハ}黙^{モク}々^カ 皆^{ミナ}冬^{フユ} 水^{ミヅ}鳥^{トリ} 尾^ビ越^コの鴨^{カモ} 八^{ハチ}秋^{アキ}之^ノ

こけり鴨おひねり鴨
かゝのと おまへ

ふけの草懸冬に接し水辺に生ず

以名征尺素之鴨香 其誰之而玄

鰐カニ 新之水也之菜も新之鰐尾又之

知チ 一ひきこふ子一多の子一

鰐カラス 一鳥をえ鳥踊の月一鳥をえ

鰐の松 鰐松おく 非生水

是夕一 紅雲の松ハ余無ア

鰐カニ 一麦之 秋分ハ虫の歌

鰐カニ 今一之 和名加波保利

貝カニ 一之 名の貝一非生の貝一

是夕一 皆おを 和名加比

貝 虫歌之水也之是の時ハ何おも不

打咆カニ 陳懐カニ おハ雲 付字三句

飛 一之 泥地又之 飛計ハ高ハ

三句 飛井のあハ雲 又ハ飛計ハ高

蟹カニ 一擁劔カニ おの月一 付字四

とふ分ハ又之 和名加豆平

蚊 一故を故おハ一之 改原又之

殊る故一之 麦之秋分ハ

鰐 一之 生れハ季ハ久て四ハ

又木一之 一面を但木一之

鰐の佐キヌ 鰐師田猫ハ云

鰐 鰐の上ハてハ季とて二之 鰐

とて和を鰐ハ之 但和を鰐ハ之

。列車の司馬ハ之 鰐の佐キヌ

鰐 鰐の知キヌ 鰐ハ之 鰐ハ之

鰐 鰐ハ之 鰐ハ之 鰐ハ之

犯^カ風^フお^ホ持^テハ^ハ報^ヘい^ハ生^シの^ノ持^テ西^シの^ノ心^ニ
○き^キこ^コハ^ハ持^テ夏^ニ之^ノ草^ノ持^テ秋^ニ之^ノ持^テ種^ノの^ノ心^ニ

麻^カ児^ノ。夏^ニ之^ノ小^ノ神^ノの^ノ心^ニ又^ハ持^テて^ハ夏^ニ

蚕^カ一^ニこ^コ極^ヘ蚕^ノの^ノ心^ニ一^ニ桑^ノ子^ノ之^ノ心^ニ持^テ

繭^ニ蚕^ノ持^テ夏^ニ之^ノ持^テお^ホ若^ノ加^ノ比^ノ古^ノ

か^カら^ラ一^ニか^カら^ラ一^ニい^ハ心^ノも^モ夏^ニ之^ノ心^ニ持^テ

若^ノの^ノ心^ニ一^ニめ^メく^ク心^ノ持^テ蚕^ノ目^ノお^ホ夏^ニ之^ノ

陸^リも^モ心^ノめ^メく^ク心^ノ持^テ水^ノ力^ノ之^ノ心^ニ

蛙^フ鼃^カ青^ノ蝦^ノ蟬^ノ斗^ノお^ホ皆^ノ之^ノ心^ニ

枝^ノの^ノ陸^ノハ^ハ夏^ニ之^ノ心^ニお^ホ若^ノ賀^ノ因^ノ流^ノ

飼^カ熟^ノ二^ニ心^ノ持^テ生^シ之^ノ心^ニ持^テ

人^ノと^ト若^ノハ^ハ心^ノ持^テ心^ノ持^テ心^ノ持^テ

心^ノ持^テ心^ノ持^テ心^ノ持^テ心^ノ持^テ心^ノ持^テ

麻^カ大^ノ夏^ニ秋^ニ之^ノ心^ニ持^テ心^ノ持^テ心^ノ持^テ

心^ノ持^テ心^ノ持^テ心^ノ持^テ心^ノ持^テ心^ノ持^テ

心^ノ持^テ心^ノ持^テ心^ノ持^テ心^ノ持^テ心^ノ持^テ

秋^ノ之^ノ心^ニ持^テ心^ノ持^テ心^ノ持^テ心^ノ持^テ心^ノ持^テ

心^ノ持^テ心^ノ持^テ心^ノ持^テ心^ノ持^テ心^ノ持^テ

心^ノ持^テ心^ノ持^テ心^ノ持^テ心^ノ持^テ心^ノ持^テ

粥^カ一^ニ心^ノ持^テ心^ノ持^テ心^ノ持^テ心^ノ持^テ心^ノ持^テ

心^ノ持^テ心^ノ持^テ心^ノ持^テ心^ノ持^テ心^ノ持^テ

心^ノ持^テ心^ノ持^テ心^ノ持^テ心^ノ持^テ心^ノ持^テ

心^ノ持^テ心^ノ持^テ心^ノ持^テ心^ノ持^テ心^ノ持^テ

心^ノ持^テ心^ノ持^テ心^ノ持^テ心^ノ持^テ心^ノ持^テ

心^ノ持^テ心^ノ持^テ心^ノ持^テ心^ノ持^テ心^ノ持^テ

心^ノ持^テ心^ノ持^テ心^ノ持^テ心^ノ持^テ心^ノ持^テ

心^ノ持^テ心^ノ持^テ心^ノ持^テ心^ノ持^テ心^ノ持^テ

心^ノ持^テ心^ノ持^テ心^ノ持^テ心^ノ持^テ心^ノ持^テ

心^ノ持^テ心^ノ持^テ心^ノ持^テ心^ノ持^テ心^ノ持^テ

心^ノ持^テ心^ノ持^テ心^ノ持^テ心^ノ持^テ心^ノ持^テ

心^ノ持^テ心^ノ持^テ心^ノ持^テ心^ノ持^テ心^ノ持^テ

垣不垣根ホ四の内ニ田畑の垣系裁
。垣ろん窓之石不裁垣二句

かふ 石不裁垣 垣色七句

き人船あのかふハ非石垣三句

圍 ^{カニム} かふ面々垣色二句之茶のの

圍 ^{カニ} 石ハ石あかとい者あてはれ

接 かふ二かふ二くはれ

隠 ハく ^{カクス} 七句 うれが石不裁垣

隠 石不 家 二句 述懐

材 ^{カニ} 一名不く山歌之非水橋之

隠 ^{カニ} 水とて 總二句 極

門 四之 音四之 門音りて

と云良門戸也者付字三句

そ途非石 門七句 門也

帝 ^{カニ} かと七句 不垣 門江ハ

もん二句 不垣 門立窓

神 二名神 一名石の神 一

音二面く 神系神と云面神子七句

鳴神 二句 雷ハ不垣 付字三句

神 系 一 汎地二 神系又云

里神系も云 位吉の産神系

神系 産 産 産 知女 採の

神系 産 大産 小産 千産

子産 星 産 産 産 産 産

又 求子 産 産 産 産 産

産 一 産 産 産 産 産

神 一 産 産 産 産 産

神 一 産 産 産 産 産

神 一 産 産 産 産 産

神 一 産 産 産 産 産

神 一 産 産 産 産 産

疎のあり、又名之
非生、の、水

非尺 齒像非夜 燕燕八在之

禱
と八二之音二之略也之
心禱也

一方黃少八面耳口八面符字三句

証一 卷二 ぞく 男抄云

今之報國漢子之志也

刀
一
刀
糸
二
刀
目
高
薩
刀
糸
七

二の心へ太刀長刀振振おはるゑ

小刀菜刀六面玄

曹カフ
一
多曹之類也二の内之

まの馬頭ハ 貴二方ハ貴二方之

一 移屍木一 へき裂六又五

要
腐
行
之
藝
乙
名
而
之
面

職一
英名
紙切紙木の内之

大車一 松原 小松半紙 与美君之

張子
卷之
在
龍之
張子
子不
臣

帷子 夏之 衣類之 如(以) 窓又之

在輕之夢かか

満土の産ハ又其被ニ爲かる

冠
一
畜
二
非衣
子
也
執
屋

かろふ三句 冠本三句 和名加字布判

笠 一 名の笠 一
二カ升 入り 不_二燃_一

華蓋之編蓋曰傘亦名の四之

月日の擧げ廻る
先字より

半 降也 二 万姓 望の終れ

竹輿

牛車

一 名のかこ 一 名の

二
升_ニ
擧_ル
か_ニ
耳_ハ
至

急

一 勢のゆく 来たぐいのゆく

紀念 是ハおと跡ハ 並ハ 並ハ

あうさハ 難の字ハ 字ハ

記念 一 並ハ 取ハ 二 句ハ

む 並 忘難ハ おと 記念ハ 云々

句ハ 一 並ハ 今ハ 一 句ハ

瓶 一 瓶子 一 花瓶 一 字ハ

瓦 一 非石 表の瓦ハ 一 和石 加波良

代 八ハ 並ハ 三句ハ 不並

啓 字ハ 一 代ハ 又 二 句ハ

顧 見 目 眺 ハ 二 句ハ

返 字ハ 一 返ハ 人ハ 一 並ハ

傳 二ハ 傳 方片 ハ 二 句ハ

方 字ハ 一 方ハ 一 非ハ

片 八ハ 片 表ハ 一

候 八ハ 候 初ハ 一 並ハ

通 字ハ 一 通ハ 一 並ハ

かろ 二ハ 候ハ 一 句ハ 不並

況 一 概ハ 一 句ハ 一 並ハ

乾 二ハ 乾ハ 一 句ハ 一 並ハ

乾 二ハ 乾ハ 一 句ハ 一 並ハ

乾 二ハ 乾ハ 一 句ハ 一 並ハ

乾 二ハ 乾ハ 一 句ハ 一 並ハ

乾 二ハ 乾ハ 一 句ハ 一 並ハ

乾 二ハ 乾ハ 一 句ハ 一 並ハ

乾 二ハ 乾ハ 一 句ハ 一 並ハ

乾 二ハ 乾ハ 一 句ハ 一 並ハ

矢

だいだい二音二
二之折之祿の代二

音二 一 之 折 之 君 之 代 一 音二 一 之 折 之

訓とく折之音とく折之

の内ハ訓音ナキ三色ニ分れてハ

所喜うりて面立。志あかり。不燈

○ 一代二代親の時よおたいた代の時よ

而よ苗代ホハ、老う代々の世のよ、二句を

此字三萬々代ハ面玄外の代ハ爲玄

世

於世四之 平世二之 仙の世二之

喜ぶても救の月の一
さの月ハ折去

三
之
分
是
八
十
面
去

意の世二

三之世ニ

三つの世 喜の代と悲の世 放て

尺素連懷あとのふくろに又尺素連懷

の河外に居る人々をふくむるが
於世ハ述懐之世と於「月」おのれに

○ 卒世ハ世たり 世の中 當世あり

の世ハあ^の世^ハ乃^の世^ハ仏^の在^の世^ハお^のく

世の夢
夢の世
迷情く共
非玄夜

浮世迷憶之
浮世和公為之非迷

○世の中ニ中ニ百世居と云ぬ

妾門
迷情之人傷之於人二句

於世ハ面々外の世ハ三々を

業のふくさうりんも迷悟の非人

世ハ三句外の世ハ不始

老后迷憶ふ

今年不妊年の移合

夜字をく 著 同 抄 嘉 二 合

○ 卷の初め 四ノ五 五ノ六 六ノ七 七ノ八 八ノ九 九ノ十

和と竹月 非_ニ夜_一時_ニ 和のふくろ

和歌の文とては、ハは和歌に

短歌を、和歌を、むかしを、

和歌の里、石の、和川、

宵ニ、よひ一、和歌、

よひ、一、あ、一、使、

う、の、の、祢紙、

呼、四、の、子、

和歌、の、の、と、許、

和歌、の、の、の、

和歌、の、の、の、

和歌、の、の、の、

和歌、の、の、の、

和歌、の、の、の、

和歌、の、の、の、

和歌、の、の、の、

和歌、の、の、の、

和歌、の、の、の、

和歌、の、の、の、

和歌、の、の、の、

和歌、の、の、の、

和歌、の、の、の、

和歌、の、の、の、

和歌、の、の、の、

和歌、の、の、の、

和歌、の、の、の、

和歌、の、の、の、

和歌、の、の、の、

後河ハ非水 後の川毎様く

様 四ノ邪陣ミツミツ ありありとあり

後河 香く 付字ニ有

後河 名更ハ山越ハ非水

より 二句ハ い初より二句

後のより 寄 依の字不始

よふより 下の初ニ有とく

のや い初ハ一巻ニ 収四ノ

笑 四ノ初より二巻ニ 後四ノ

余ハ 二巻ニ 寄ハく

後一ノ笑一ノ 依ハく

卷

玉 室の玉四ノ初より二巻ニ

室の玉 四ノ初より二巻ニ

玉 室の玉四ノ初より二巻ニ

玉 室の玉四ノ初より二巻ニ

玉 室の玉四ノ初より二巻ニ

玉 室の玉四ノ初より二巻ニ

玉 室の玉四ノ初より二巻ニ

玉 室の玉四ノ初より二巻ニ

玉 室の玉四ノ初より二巻ニ

玉 室の玉四ノ初より二巻ニ

玉 室の玉四ノ初より二巻ニ

玉 室の玉四ノ初より二巻ニ

玉 室の玉四ノ初より二巻ニ

玉 室の玉四ノ初より二巻ニ

玉 室の玉四ノ初より二巻ニ

玉 室の玉四ノ初より二巻ニ

710 人 111 人

竹
五句是極地有竹之句

并夏之竹
子方之
若竹夏之

竹塢 志竹 八極和之竹 九句

[illegible]

樓許八石と弦乃て是如之

紫の白ハ秋ハ力飾ハ之

タテ

葦一名三之五のこさひもお

○卜沽 初葺 松葺 甬葺 竹葺

平茸 紅茸 枹茸 枹茸 桑茸

苺茸汁 苺天狗茸 へくち子め

松島 菌の分秋之極地ニ栽培

第一非極
窮能二月之久又五

たぐ^二面やく^一五^五木柴^五元^五惣^五木^二五^一

焚二やく_ニ之_一焼_ル七_夕

之煙悉之又生。芥子焚尸者之

非_二大_二七_二白_二く_二考_二和_二二_二白

香折
かろ
白
臭
七白

○梅花 荷葉 菊花 海棠 皆季時

七夕一。美名二。ク。木三。之。秋之。

日
久
張
ハ
和
カ
ノ
ミ
ニ

美者
夕時分二方誰彼二方非人

ち
八
舩ふね之吹雪ふぶきを
月つきを

○ ちて 名所の非尺 然るも お二人友之

○ 子砂 名所の時ハ非山 山表の時ハ非名

高根一名西三之玄姫嶽二月一

富士の根
おの根
おの根
おの根

嶽
一名三之峯古振五

その山を山ホセウ

谷 三
石 二
之 山
北 入
付 字 三
六

小也抱ハ面玄 谷ノ戸非居

一名二之山泉水也

不世也八面去
什字三勾

勝山
勝山
勝山
勝山
勝山

卷之五 二名 一 卷之六 二

お久季とてまゝに但冬ハ

第一卷の序

上
後の果如舊旧舊 白尾 綾尾 子之

○ 慙 毛 とうろく 鷹 雲 雀 鷺 木 六 是 之
ノリ 分 名 方 サ ハ フ ニ ヲ サ イ

小弩 尻熟 熟 小隼 砵 雀城 熟 熟

驚折芝驚 紙掛の驚 芝驚 狂驚

高野山より高野山別院

神意亦秋之兄意力意集大意

そく。意の意を理意とす。意を推

○ 諸君 説く多し 字 色 あり

秋之趣
 笑の意

卷之八 卷之九 卷之十 卷之十一 卷之十二 卷之十三 卷之十四 卷之十五 卷之十六 卷之十七 卷之十八 卷之十九 卷之二十 卷之二十一 卷之二十二 卷之二十三 卷之二十四 卷之二十五 卷之二十六 卷之二十七 卷之二十八 卷之二十九 卷之三十 卷之三十一 卷之三十二 卷之三十三 卷之三十四 卷之三十五 卷之三十六 卷之三十七 卷之三十八 卷之三十九 卷之四十 卷之四十一 卷之四十二 卷之四十三 卷之四十四 卷之四十五 卷之四十六 卷之四十七 卷之四十八 卷之四十九 卷之五十 卷之五十一 卷之五十二 卷之五十三 卷之五十四 卷之五十五 卷之五十六 卷之五十七 卷之五十八 卷之五十九 卷之六十 卷之六十一 卷之六十二 卷之六十三 卷之六十四 卷之六十五 卷之六十六 卷之六十七 卷之六十八 卷之六十九 卷之七十 卷之七十一 卷之七十二 卷之七十三 卷之七十四 卷之七十五 卷之七十六 卷之七十七 卷之七十八 卷之七十九 卷之八十 卷之八十一 卷之八十二 卷之八十三 卷之八十四 卷之八十五 卷之八十六 卷之八十七 卷之八十八 卷之八十九 卷之九十 卷之九十一 卷之九十二 卷之九十三 卷之九十四 卷之九十五 卷之九十六 卷之九十七 卷之九十八 卷之九十九 卷之一百

牡丹 花さけり ぬきあそび 一葉
 ヌクヌク

九平陰經一週後終に於。明。光。之。

一 阪上公の公孫の事、定直の

三下不吐云 不吐の意、吐下

田
下

一 尺重く青くたむくの石
たむく木棉をこき 山や身体
衣類をとむき紙を枕おくて
極一 石布く又石の極一 菰蒲の
極の四一 非石 市の極非石
堂一 非尺名の堂一 又白より
尺重の時に塔寺にたむく

塔一 尺重く塔塔塔中おの四一
大 四 才 大馬袂袂くの大工非人
民 非人 民の袂く非石
袂 一 ち付く字ハれきて
誰 字も人傷くこれ松中非
柱 三 白 意仕立くハれ二
番 八 付字三 白 意二 白 又
新の釜米非水 口 冬く水
お 久てハく意 終てハれ
歳 一 生 終二 風 俗士又
使 四 久 すすがたつき二
た 久 久てきたるたより
ま 八 不 付 ねハ 白 白 二 白
遍 二 た 白 一 た 白 一 白
妙 一 た 白 一 堪 延 白 不 延

綱
教
梯
綱
云
和
者
太
比

梯 一名の梯一梯梯之付字三方

學 夏之 非夜 石下 載

臺一名の臺一之臺所ホハ三白

大正 四 本棉 五 二 五 山 五 五 五

一 石取又 名の極一 菰蒲菊の

堂一非尺名の堂一之又白より

塔一尺之塔中有一尺之塔

民非人
民のまゝと非居

誰
字
是
人
傷
之
不
松
中
非
意

卷八 付字三百卷二百(八)

松
久七八之五
弦七八折去之

便
四
え
よ
す
が
た
つ
き
二
句

事ハ不付 爲ハ白_二アルニ付_一

一夫之堪
亦出不始

れ 下知の子ニ白



袖 字ニ量ハカニ云々ニ白

條 久ニ四ノ葉と條秋ニ付字ニ

袖 字ニ衣ニ衣ノ衣ニ付

袖 衣ハ不短 袖ニ衣袖川袖の衣ニ

袖の衣 衣 衣 衣 衣 衣 衣 衣 衣

衣 衣 衣 衣 衣 衣 衣 衣 衣 衣

衣 衣 衣 衣 衣 衣 衣 衣 衣 衣

衣 衣 衣 衣 衣 衣 衣 衣 衣 衣

衣 衣 衣 衣 衣 衣 衣 衣 衣 衣

衣 衣 衣 衣 衣 衣 衣 衣 衣 衣

衣 衣 衣 衣 衣 衣 衣 衣 衣 衣

衣 衣 衣 衣 衣 衣 衣 衣 衣 衣

衣 衣 衣 衣 衣 衣 衣 衣 衣 衣

衣 衣 衣 衣 衣 衣 衣 衣 衣 衣

衣 衣 衣 衣 衣 衣 衣 衣 衣 衣

衣 衣 衣 衣 衣 衣 衣 衣 衣 衣

衣 衣 衣 衣 衣 衣 衣 衣 衣 衣

衣 衣 衣 衣 衣 衣 衣 衣 衣 衣

衣 衣 衣 衣 衣 衣 衣 衣 衣 衣

衣 衣 衣 衣 衣 衣 衣 衣 衣 衣

衣 衣 衣 衣 衣 衣 衣 衣 衣 衣

衣 衣 衣 衣 衣 衣 衣 衣 衣 衣

衣 衣 衣 衣 衣 衣 衣 衣 衣 衣

衣 衣 衣 衣 衣 衣 衣 衣 衣 衣

衣 衣 衣 衣 衣 衣 衣 衣 衣 衣

衣 衣 衣 衣 衣 衣 衣 衣 衣 衣

十ノ 五うろハ折入て云ニ音ニ七ウ

三十^{ニナチヨソチ} 四十^{ヨソチ} 五十年の字ニ不短之 但

ちの假名ニ一ハ此ス付^{ハナク}

葛^ハ妻 植^ル七月 在八月 荷九月

植^ル也^ニ 新^ニそ^ハ九月^ニ之^ハ非^ニ植

換 利^ニ月^ニ一^ニ破^ニ換^ニ又^ニん^ニま^ニう^ニく

そ^ニう^ニく^ニ一^ニく^ニ二^ニう^ニく^ニ三^ニう^ニく^ニ四^ニう^ニく^ニ五^ニう^ニく

ぞ 隔^リる^ニ 二^ニウ^ニま^ニく

後^ニ一^ニ五^ニ三^ニ始^ニ而^ニ 育^ニ二^ニく

後^ニ一^ニ五^ニ一^ニく 存^ニ二^ニく

祖^ニ二^ニく^ニ山^ニ終^ニ 反^ニ二^ニく

雪^ニ車^ニを^ニく 涉^ニ二^ニく

在^ニく^ニて^ニ四^ニく 背^ニ四^ニく

做^ニく^ニて^ニ二^ニく 採^ニ四^ニく

抄

六 一 名^ニの^ニ六^ニ一^ニ六^ニ八^ニ六^ニ朱^ニ六^ニの^ニ四^ニ又^ニ二^ニ之

を^ニあ^ニか^ニり^ニく^ニ地^ニ面^ニ之^ニ付^ニ字^ニ二^ニウ

築^{ツク}四^ニ之^ニ筑^ニ築^ニは^ニ不^ニ短^ニ付^ニ字^ニ三^ニウ

筑^ニ山^ニ非^ニ山^ニ筑^ニ池^ニ其^ニ右^ニ而^ニ裁^ニ短

植^ニ一^ニ五^ニく^ニ早^ニ咲^ニ裁^ニ植^ニ六^ニの^ニ四^ニ二^ニ之

植^ニと^ニ許^ニも^ニ苗^ニ候^ニの^ニ植^ニハ^ニ五^ニ三^ニ短^ニく

苗^ニ咲^ニみ^ニく^ニ植^ニの^ニ池^ニ灰^ニ六^ニ短^ニ二^ニウ

又^ニ解^ニ難^ニく^ニ系^ニニ^ニく^ニと^ニ云^ニハ^ニ植^ニ也^ニ

躰^{ツク}躰^ニ五^ニく^ニあ^ニく^ニさ^ニり^ニ五^ニま^ニあ^ニ二^ニウ

五^ニ平^ニ五^ニく^ニは^ニく^ニと^ニ許^ニも^ニ五^ニ三^ニく^ニ

い^ニつ^ニと^ニの^ニ字^ニも^ニ不^ニ短^ニ五^ニつ^ニ五^ニ又^ニ五^ニく

五^ニ三^ニ一^ニ五^ニ三^ニく^ニ五^ニ三^ニく^ニ五^ニ三^ニく^ニ五^ニ三^ニく^ニ五^ニ三^ニく

五^ニ三^ニ一^ニ五^ニ三^ニく^ニ五^ニ三^ニく^ニ五^ニ三^ニく^ニ五^ニ三^ニく^ニ五^ニ三^ニく

○夢の細及ハ名不之難之也又付字ニ
 月 秋之夜久くハ面ニ表之て也
 但し名跡の表ハ大概セバ也
 而の月ハ之てあがきバ百韻ニツ
 こがれ月出久之折 面とくへて
 月とくハ句去又音少も同か
 月次の月ハ二句ハ日ニ字ニ表如
 係せきさうとさうこれ師を不
 △月次ニ月の次ニ上の句ニ月の次ニ
 ○月ニ嘆吟 更科 不才付とく
 ○月 夜の字ハ句折去と表も折
 ○月 月の如ハ水也之ハ式也ハ不様
 △去の月ニ去の二日月ニ去の在明ニ
 不ニ去の字と表する月ニ以上四
 月ハ八面とくハ不
 秋の月ハ八面とくハ不
 秋の月ハ八面とくハ不

△在明 秋ニ他の季ニ三日月又月之
 在明とくハ三日月とくハ秋之表
 △月の名 玉兎在明桂影三夜ハ
 予影 既予^{イサヨ} 立待 居待^{イサヨ} 中
 影ハ秋之夜久くハ面ニ表之
 ○孟 常娥おも影光を影ハ又同之
 △月次の月 寺号 名不表付字の
 月も影光を影ハ面ニ表之秋之表
 ○心の月 梅の月ニ去の月ハ去之
 難くハ面ニ表之但非夜
 ○星月表 難くハ面ニ表之
 而の月ニ不表 名不の月ハ表ハ不
 月の表 表 秋ニ非降 月の表 秋ニ
 非水 月の表ハ表ハ不

○月サカ月サエ秋之サユル月冬之

月の明る 明る 明る 二月の明る

在明四入 亦皆非夜 明之入 亦皆非夜

○在明
秋
明
曆
月
秋
月
皆
和
之

○ふけさ夕美日入相葉朝木

此三月非夜。夜之仿月非夜時。

月の主友人傷之月を主友ハ非人

○月の若く非居

[illegible]

抱朴子之非玄
月從非升

八上の社 月漢の社 厚月を抄

私之稱之 川清の嘉名子也

白牡丹

月次の月 字考之一方 吾屯ハ二句云

凡そ越境くも兒在ぬおの處二ふ

○凡此所記之書

不姓
夕月夕月夕月

○ さうんハ
いづの月やも不照

月草 秋之萩草の事 月二字を去

新光を結ぶ西の月を抱き寄る

家 秋之字也 二句の降也

雲時多駕鴨塢衾布衣之志

木の葉落葉枯死枯草を踏ひて

男秋_ノ雪水_ヲ乳_ニ乳_{スル}

[illegible]

志けき功非極

蔓 三 令 三 之 弓 張 ハ 八 之

○人のほり一はる一系のをよ

物
一水也
舟師士おと不短
熟二一之

非生の物又二之
物者悉く

撫^{ツキ} 非^ニ山^ニ極^ニ 木采薪妻^ニ瓜^ニ木^ニ石

燕
美之
隊
力
果
力
美
之
隊
力
秋
之

一 花ハめ
一 花ハう
一 季をふてま

一
鵲
一
音
之
榮
也
子
難
之

香乃こし 蔦菱よの_三ニ_二之_一 付字面

壽林尺素之非山生名

二
 子之入而之
 多解之山不照

付 二名 二水 之 休字 付字 共 三

塙
表傷
名前の塙

[illegible]

过古过玄未竟之
和石十字上

角
一
細
二
一
く
小
せ
お
又
同
の
角
ハ
四

膏三人傷之甚之

高野房木の妻の歌を、女主人

うらなり
とま
時

姊いりく下サおの親ハ三右と

○ 生熟の毒 — くばく 女の死 不持

妻の戸名
子との戸名

卷之六

倭一
倭一
倭一
倭一

牛展

二、六ノ八ノ九ノ十ノ十一ノ十二ノ十三ノ十四ノ十五ノ十六ノ十七ノ十八ノ十九ノ二十ノ二十一ノ二十二ノ二十三ノ二十四ノ二十五ノ二十六ノ二十七ノ二十八ノ二十九ノ三十ノ三十一ノ三十二ノ三十三ノ三十四ノ三十五ノ三十六ノ三十七ノ三十八ノ三十九ノ四十ノ四十一ノ四十二ノ四十三ノ四十四ノ四十五ノ四十六ノ四十七ノ四十八ノ四十九ノ五十ノ五十一ノ五十二ノ五十三ノ五十四ノ五十五ノ五十六ノ五十七ノ五十八ノ五十九ノ六十ノ六十一ノ六十二ノ六十三ノ六十四ノ六十五ノ六十六ノ六十七ノ六十八ノ六十九ノ七十ノ七十一ノ七十二ノ七十三ノ七十四ノ七十五ノ七十六ノ七十七ノ七十八ノ七十九ノ八十ノ八十一ノ八十二ノ八十三ノ八十四ノ八十五ノ八十六ノ八十七ノ八十八ノ八十九ノ九十ノ九十一ノ九十二ノ九十三ノ九十四ノ九十五ノ九十六ノ九十七ノ九十八ノ九十九ノ百

二、為教師者、弘の如く

華便弄而不煩
又佳又工

竹
品二
意二
族
く
た
ま
も
四
の
心
い

○ 片之長六八之四之片之

勅
品一
一
一
一
勅の旨を

二五二ノカノ内事ニス

聖二款三考二八考而考八

瓜之紋 瓜形亦如瓜之 瓜本二百

歌中
歌痛
既頂
士村
之之

景
和
當
務
爲
系
書
子
之
也

面
久て
久
田
了
川
了
橋
了
町

了ヲ松ヲおヲうヲててしし

人の類 所の作 其を令 作を令

國石八月

百
十
一

一
 二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十一
 二十二
 二十三
 二十四
 二十五
 二十六
 二十七
 二十八
 二十九
 三十
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一百

卷四 附錄 上卷 附錄 上卷 附錄 上卷

名の器
一
月の像

校
一
名の秋、ふせわしむ
留口放惠

一 名の病一之紋糸お一之付字三也

名の槌 一 槌目又ニ付三

石の角之角五井箇角也

中々
ツキ木
中々
ツキ木

四、棲秘之要云 身之口

うてハク観作（意ハ）字子

四く書の外に著く非夜作との

易二卷之二

呂二五二之變些二百

疲

へて二くはれ又二く

運

二く及ぶ運わく又つゝ運を

るゝ運うて運を

つん七をきり運うハれく

はりし日あつゝんうじハ二句

ははうき付てきりハれ

はり下の白二只二く付てきり

上の白中ハきり運之中の白も

二よりきりあれも白をきり

はく二句二く 後四く

列 四く二句 後四く

場 一名二句 後四く

粒 一名の粒二く 後四く

大寿 一苞ハ 竟四く

はく 後二句 苞二く

米 二句ハ 後二く

番 一付ハ 序二く

飛 二非ハ 突ハく

兵 非人 摘ハく

九折 山ハ 後ハく

結 久て二く 尽ハく

情 久て二く 結字を

二句 字を 結二句 結字を

付 字を 結二句 結字を

祢

根 本二句二くハ 結二句

根 本二句二くハ 結二句

根 本二句二くハ 結二句

根 本二句二くハ 結二句

寢 四くおく夢をく移云移る

移る 移る 年の移る 移る

めり 四くおく夢をく移る 移る

移る 移る 移る 移る

移る 移る 移る 移る

又移る 移る 移る 移る

人の移る 移る 移る 移る

寢 移る 移る 移る 移る

移る 移る 移る 移る

移る 移る 移る 移る

移る 移る 移る 移る

移る 移る 移る 移る

移る 移る 移る 移る

移る 移る 移る 移る

移る 移る 移る 移る

眠 移る 移る 移る 移る

移る 移る 移る 移る

移る 移る 移る 移る

移る 移る 移る 移る

移る 移る 移る 移る

移る 移る 移る 移る

移る 移る 移る 移る

移る 移る 移る 移る

移る 移る 移る 移る

移る 移る 移る 移る

移る 移る 移る 移る

移る 移る 移る 移る

移る 移る 移る 移る

② 2nd. 5. 3. 2. 1. 0. 1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12. 13. 14. 15. 16. 17. 18. 19. 20. 21. 22. 23. 24. 25. 26. 27. 28. 29. 30. 31. 32. 33. 34. 35. 36. 37. 38. 39. 40. 41. 42. 43. 44. 45. 46. 47. 48. 49. 50. 51. 52. 53. 54. 55. 56. 57. 58. 59. 60. 61. 62. 63. 64. 65. 66. 67. 68. 69. 70. 71. 72. 73. 74. 75. 76. 77. 78. 79. 80. 81. 82. 83. 84. 85. 86. 87. 88. 89. 90. 91. 92. 93. 94. 95. 96. 97. 98. 99. 100. 101. 102. 103. 104. 105. 106. 107. 108. 109. 110. 111. 112. 113. 114. 115. 116. 117. 118. 119. 120. 121. 122. 123. 124. 125. 126. 127. 128. 129. 130. 131. 132. 133. 134. 135. 136. 137. 138. 139. 140. 141. 142. 143. 144. 145. 146. 147. 148. 149. 150. 151. 152. 153. 154. 155. 156. 157. 158. 159. 160. 161. 162. 163. 164. 165. 166. 167. 168. 169. 170. 171. 172. 173. 174. 175. 176. 177. 178. 179. 180. 181. 182. 183. 184. 185. 186. 187. 188. 189. 190. 191. 192. 193. 194. 195. 196. 197. 198. 199. 200. 201. 202. 203. 204. 205. 206. 207. 208. 209. 210. 211. 212. 213. 214. 215. 216. 217. 218. 219. 220. 221. 222. 223. 224. 225. 226. 227. 228. 229. 230. 231. 232. 233. 234. 235. 236. 237. 238. 239. 240. 241. 242. 243. 244. 245. 246. 247. 248. 249. 250. 251. 252. 253. 254. 255. 256. 257. 258. 259. 260. 261. 262. 263. 264. 265. 266. 267. 268. 269. 270. 271. 272. 273. 274. 275. 276. 277. 278. 279. 280. 281. 282. 283. 284. 285. 286. 287. 288. 289. 290. 291. 292. 293. 294. 295. 296. 297. 298. 299. 300. 301. 302. 303. 304. 305. 306. 307. 308. 309. 310. 311. 312. 313. 314. 315. 316. 317. 318. 319. 320. 321. 322. 323. 324. 325. 326. 327. 328. 329. 330. 331. 332. 333. 334. 335. 336. 337. 338. 339. 340. 341. 342. 343. 344. 345. 346. 347. 348. 349. 350. 351. 352. 353. 354. 355. 356. 357. 358. 359. 360. 361. 362. 363. 364. 365. 366. 367. 368. 369. 370. 371. 372. 373. 374. 375. 376. 377. 378. 379. 380. 381. 382. 383. 384. 385. 386. 387. 388. 389. 390. 391. 392. 393. 394. 395. 396. 397. 398. 399. 400. 401. 402. 403. 404. 405. 406. 407. 408. 409. 410. 411. 412. 413. 414. 415. 416. 417. 418. 419. 420. 421. 422. 423. 424. 425. 426. 427. 428. 429. 430. 431. 432. 433. 434. 435. 436. 437. 438. 439. 440. 441. 442. 443. 444. 445. 446. 447. 448. 449. 450. 451. 452. 453. 454. 455. 456. 457. 458. 459. 460. 461. 462. 463. 464. 465. 466. 467. 468. 469. 470. 471. 472. 473. 474. 475. 476. 477. 478. 479. 480. 481. 482. 483. 484. 485. 486. 487. 488. 489. 490. 491. 492. 493. 494. 495. 496. 497. 498. 499. 500. 501. 502. 503. 504. 505. 506. 507. 508. 509. 510. 511. 512. 513. 514. 515. 516. 517. 518. 519. 520. 521. 522. 523. 524. 525. 526. 527. 528. 529. 530. 531. 532. 533. 534. 535. 536. 537. 538. 539. 540. 541. 542. 543. 544. 545. 546. 547. 548. 549. 550. 551. 552. 553. 554. 555. 556. 557. 558. 559. 560. 561. 562. 563. 564. 565. 566. 567. 568. 569. 570. 571. 572. 573. 574. 575. 576. 577. 578. 579. 580. 581. 582. 583. 584. 585. 586. 587. 588. 589. 590. 591. 592. 593. 594. 595. 596. 597. 598. 599. 600. 601. 602. 603. 604. 605. 606. 607. 608. 609. 610. 611. 612. 613. 614. 615. 616. 617. 618. 619. 620. 621. 622. 623. 624. 625. 626. 627. 628. 629. 630. 631. 632. 633. 634. 635. 636. 637. 638. 639. 640. 641. 642. 643. 644. 645. 646. 647. 648. 649. 650. 651. 652. 653. 654. 655. 656. 657. 658. 659. 660. 661. 662. 663. 664. 665. 666. 667. 668. 669. 670. 671. 672. 673. 674. 675. 676. 677. 678. 679. 680. 681. 682. 683. 684. 685. 686. 687. 688. 689. 690. 691. 692. 693. 694. 695. 696. 697. 698. 699. 700. 701. 702. 703. 704. 705. 706. 707. 708. 709. 710. 711. 712. 713. 714. 715. 716. 717. 718. 719. 720. 721. 722. 723. 724. 725. 726. 727. 728. 729. 730. 731. 732. 733. 734. 735. 736. 737. 738. 739. 740. 741. 742. 743. 744. 745. 746. 747. 748. 749. 750. 751. 752. 753. 754. 755. 756. 757. 758. 759. 760. 761. 762. 763. 764. 765. 766. 767. 768. 769. 770. 771. 772. 773. 774. 775. 776. 777. 778. 779. 780. 781. 782. 783. 784. 785. 786. 787. 788. 789. 790. 791. 792. 793. 794. 795. 796. 797. 798. 799. 800. 801. 802. 803. 804. 805. 806. 807. 808. 809. 810. 811. 812. 813. 814. 815. 816. 817. 818. 819. 820. 821. 822. 823. 824. 825. 826. 827. 828. 829. 830. 831. 832. 833. 834. 835. 836.

卷之二 西元前八二卷 卷之二

存宣人使

石 五 二 三 一 六 九 八

五言古詩一首

$$x + 247.10 - 200.00 = 47.10$$

人

媒為非人 中五二為

中

12. 10. 1900

卷之五 目 五

故の春秋、非律

水川 意の時、非水、石石の時、非石

三書 本巻周の事、(一) 如、

211 - on Oct 1 - 1/2 m. S. of

...

多 秋七白くうれハ三白を

多 又准之鳴 あまきし 秋七白を

鳴 あまきし 秋七白を あまきし 秋七白を

鳴 秋七白を あまきし 秋七白を

鳴 秋七白を あまきし 秋七白を

麻 あまきし 秋七白を あまきし 秋七白を

。 秋七白を あまきし 秋七白を

秋七白を あまきし 秋七白を

。 秋七白を あまきし 秋七白を

。 秋七白を あまきし 秋七白を

。 秋七白を あまきし 秋七白を

。 秋七白を あまきし 秋七白を

。 秋七白を あまきし 秋七白を

。 秋七白を あまきし 秋七白を

。 秋七白を あまきし 秋七白を

。 秋七白を あまきし 秋七白を

。 秋七白を あまきし 秋七白を

。 秋七白を あまきし 秋七白を

。 秋七白を あまきし 秋七白を

。 秋七白を あまきし 秋七白を

。 秋七白を あまきし 秋七白を

。 秋七白を あまきし 秋七白を

。 秋七白を あまきし 秋七白を

。 秋七白を あまきし 秋七白を

。 秋七白を あまきし 秋七白を

。 秋七白を あまきし 秋七白を

。 秋七白を あまきし 秋七白を

。 秋七白を あまきし 秋七白を

。 秋七白を あまきし 秋七白を

梨^{ナシ}比^ヒ 梨^{ナシ}下^カ 其^{コノ} 梨^{ナシ}之^ノ 非^ヒ 極^{キョク} 又^{マタ} 其^{コノ}

橘^{キハチ} 梨^{ナシ}之^ノ 皮^カ ハ 夏^{ナツ}之^ノ 皮^カ ハ 秋^{アキ}之^ノ

波^{ナミ} ハ 冬^{フユ}之^ノ 波^{ナミ} ハ 春^{ハル}之^ノ 水^{ミヅ} 也^{ナリ}

花^{ハナ} の 波^{ナミ} 波^{ナミ} 浪^{ナミ} ハ 非^ヒ 水^{ミヅ} 浪^{ナミ} の 水^{ミヅ} 也^{ナリ}

浪^{ナミ} 枕^{マクラ} 浪^{ナミ} 之^ノ 水^{ミヅ} 也^{ナリ}

浪^{ナミ} 苑^{エン} 只^{ただ} 一^{ヒト} 寺^{テラ} ハ 浮^{ウキ} 人^{ヒト} 也^{ナリ} 又^{マタ} 一^{ヒト}

寺^{テラ} 之^ノ 水^{ミヅ} 也^{ナリ} 又^{マタ} 一^{ヒト} 寺^{テラ} 之^ノ 水^{ミヅ} 也^{ナリ}

は 江^エ 之^ノ 水^{ミヅ} 也^{ナリ} 浪^{ナミ} 花^{ハナ} 不^フ 燃^{ネン}

。 新^{シン} 波^ハ 波^ハ の 乃^{ナニ} ハ 非^ヒ 水^{ミヅ} 也^{ナリ} 又^{マタ} 一^{ヒト}

流^{リウ} 四^シ 水^{ミヅ} 也^{ナリ} 又^{マタ} 一^{ヒト} 寺^{テラ} 之^ノ 水^{ミヅ} 也^{ナリ}

。 浪^{ナミ} 水^{ミヅ} 也^{ナリ} 非^ヒ 極^{キョク} 在^在 近^{キン} の 乃^{ナニ} ハ 非^ヒ 水^{ミヅ}

流^{リウ} 浪^{ナミ} 極^{キョク} 難^{ナン} 立^{タテ} 在^在 の 流^{リウ} 一^{ヒト} 矢^ヤ 災^{サイ}

是^{コノ} の 浪^{ナミ} 也^{ナリ} 浪^{ナミ} の 浪^{ナミ} ハ 非^ヒ 水^{ミヅ} 也^{ナリ}

若^ニ 二^ニ 世^セ の 俗^{ソク} 二^ニ 俗^{ソク} 也^{ナリ}

若^ニ 二^ニ 俗^{ソク} 也^{ナリ} 俗^{ソク} 也^{ナリ}

若^ニ 二^ニ 俗^{ソク} 也^{ナリ} 俗^{ソク} 也^{ナリ}

若^ニ 二^ニ 俗^{ソク} 也^{ナリ} 俗^{ソク} 也^{ナリ}

若^ニ 二^ニ 俗^{ソク} 也^{ナリ} 俗^{ソク} 也^{ナリ}

若^ニ 二^ニ 俗^{ソク} 也^{ナリ} 俗^{ソク} 也^{ナリ}

若^ニ 二^ニ 俗^{ソク} 也^{ナリ} 俗^{ソク} 也^{ナリ}

若^ニ 二^ニ 俗^{ソク} 也^{ナリ} 俗^{ソク} 也^{ナリ}

若^ニ 二^ニ 俗^{ソク} 也^{ナリ} 俗^{ソク} 也^{ナリ}

若^ニ 二^ニ 俗^{ソク} 也^{ナリ} 俗^{ソク} 也^{ナリ}

若^ニ 二^ニ 俗^{ソク} 也^{ナリ} 俗^{ソク} 也^{ナリ}

若^ニ 二^ニ 俗^{ソク} 也^{ナリ} 俗^{ソク} 也^{ナリ}

若^ニ 二^ニ 俗^{ソク} 也^{ナリ} 俗^{ソク} 也^{ナリ}

若^ニ 二^ニ 俗^{ソク} 也^{ナリ} 俗^{ソク} 也^{ナリ}

若^ニ 二^ニ 俗^{ソク} 也^{ナリ} 俗^{ソク} 也^{ナリ}

若^ニ 二^ニ 俗^{ソク} 也^{ナリ} 俗^{ソク} 也^{ナリ}

若^ニ 二^ニ 俗^{ソク} 也^{ナリ} 俗^{ソク} 也^{ナリ}

若^ニ 二^ニ 俗^{ソク} 也^{ナリ} 俗^{ソク} 也^{ナリ}

若^ニ 二^ニ 俗^{ソク} 也^{ナリ} 俗^{ソク} 也^{ナリ}

在
 入て四
 在
 入

繩
一
石の繩
一
糸
巻
ふ
一
一

尾田姫子殿
付下二白

一 名の病

生
久

今も不登。

薙
二て二く
薙の秘又

字玄く
うん
あ
う
ふ

[illegible]

三、
二、
一、

方以智

一、此 不 勝 心 之 妙 也

天香居士
詩集卷之五

二白をく喫不付 勇の二く

七もさくニまゐる

亦不爲

世

二六五 八八之 公不

成不居也不封

余有とよふをく余阿の及高

三子之

契りきるくうくうをホハ世のなまこ

豫さるる 五五八六 六五三三 五之二

る思ひをいふお分、あてふたふた、二句

二句
五
二句

下のか部へハ付白紙
すをよるべし

三ノ

六十二

下
心
所
以
三
十
三

不也

人
七
百
五
十
八
折
玄

○麦秋 麦穂 麦跡 （麦二） 中

年越 （麦） 柔 （麦） 見 （麦） 分 （麦） 麦之極地

麦飯 麦切 麦 （麦） 雜之切 麦新麦

麦之冷麦 （麦） 麦秋之 （麦） 非極

一雜 （麦） 之 （麦） 若極地 （麦） 若毛

生 （麦） 極地 （麦） 若毛 （麦） 若毛

若毛 （麦） 雜之 （麦） 若毛 （麦） 若毛

若毛 （麦） 若毛 （麦） 若毛 （麦） 若毛

村 （麦） 二 （麦） 若毛 （麦） 若毛

村 （麦） の （麦） 若毛 （麦） 若毛

村 （麦） の （麦） 若毛 （麦） 若毛

村 （麦） の （麦） 若毛 （麦） 若毛

村 （麦） の （麦） 若毛 （麦） 若毛

村 （麦） の （麦） 若毛 （麦） 若毛

村 （麦） の （麦） 若毛 （麦） 若毛

帝爲人佛之 房桑赤之

年

栴 一とく 紅栴は栴の月三とく

栴は葉八羽栴の月一秋之早咲一冬之
咲けを栴麦之面と名を女

栴枝汎ふとく之の栴枝代季の栴面

栴天栴のぬ麦之栴下栴深新之

栴垂新之非栴いふ面付字三勺

栴の夏名好文本未実取むの兄白麦

麦く(夏)かり子(冬)若草風俗季

は赤栴の背夏名(冬)一化季ハ面

茨 一 新く木之花ハ麦之夏ハ秋之

い(冬)かき又(冬)付字三勺 一説草

麦 極お二 夏名二 倉お二

麦新 麦く(冬)ハ赤く(冬)

麦新ハ冬之麦新是共極地越姫

○麦秋 麦新麦新(冬)麦二(冬)中

年越季 葉せん(冬)は(冬)麦之極地

麦飯 麦切麦く(冬)新之切麦新麦

麦之冷麦めり麦秋之(冬)非極

栴 一 新くむ(冬)の若極地之若赤之

栴生 一 極地之若赤越姫和若毛冬食

栴の夏新之若赤(冬)之むハ秋之

栴ハ冬之栴(冬)又(冬)は(冬)大内

村 二 名赤二 若赤二 越姫 任村之

村の字ハ字(冬) 栴 二 葉取 二 白

○枚村 栴の村立ふの(冬)極地の冬七日

栴 四 (冬)む(冬)む(冬)山(冬)

む(冬)む(冬)人(冬)二(冬)村(冬)二(冬)白
云 ハ(冬)カ 云のむ(冬)云(冬)

延一夜分ノ名の延一法ニ

法此後紅糸木の延非夜

。昔より紅糸木のむしり種也
安とて此木也。蒙り種セウ

室 くるて びろの子もハ非室

室若き人傷之ハ室ス人若き

室の戸又若く非若 寺セウ

糞室非若 室のハ若 非水山

夢想 若若 其神族之若

人若と若り 非神ハ若准之

聲 人傷之非也 聲入 聲九

む聲ホ若之。聲孫又若也

息女也之 女之 女の若セウ

。幼雅の息女のハ非也 子息也

幼雅のハ非之ハ若ハ若也

生 一 幼也 何の成死 一 何の

いさる 何の 二 何の 三 何の

第二 述懐 一 何の 二 何の

何の 三 何の 四 何の 五 何の

何の 六 何の 七 何の 八 何の

馬 二 何の 三 何の 四 何の

并後也 車り 木の何の 何の

この 何の 何の 何の 何の

木の 何の 何の 何の 何の

子 人 何の 何の 何の

何の 何の 何の 何の 何の

何の 何の 何の 何の 何の

麻屋のこ
 お基の駒
 三弦の駒

名不ふれとる七句姫米之

又付字の約ハ
約七白三三
約三三

此篇二名の中へ共秋之抄

松虫 乾虫 銚虫 子成虫 六名の虫 秋

蝸蝓 小秋之秋の虫名の虫 同名の虫ハ有

我々虫 蚯蚓 水 鳴 喜 弦 八 秋

前臨の秋の虫ハ内五不苦金龜類

德家持緇木
立
生於

腹の月ツ
 後の鳥カ
 (キ
 後の娘
 ケ

二册一册之 迄、非夜

しんく

止
ひ
三
正
の
や
入

之
已來
坐
四
載
又
約
方

新之氣之

力子

7

子
子
子

子

八

之非

三

江

廿

瓜果

主人

榧

又

軌

112

五

2

又依

3

呂父

人

送人

卷

22

五

守

②

夜

葎 ウキクサ

難之水也之葎ハ去之ハ去之

橙 キキ

水也之木ニ白非極

瓜 ウリ

一蔓之名の瓜一之利名ニ利

ウリハ

守瓜又五蔓之虫之利名ニ利波团

スイカ トウカ

西瓜冬瓜秋之又折之付字ニ白

虚 ウツ

久て四く一セ白く一不極

ろ和木極也之穴蟬麦之宜具生之

海 ウミ

二名也ニ海也之付字ニ白

うまふろろと利面の系おも

あせ也ニ重く取河おも海之非水

宇 ウ

宇治のむきハ秋まゝ之非正花

表 ウラ

表不表表本表板紙ホウリ一

表枯極也ニ表秋之表表

中 ウチ

中表双ハ中 中ニ白

ト ウ

ト不極

夜 ウレ

四之のり不極ハ尼夕ニ共ニ

脇 ウデ

一之立おもハ一之ニセ白

一之立おもハ一之ニセ白

賛 ウム

賛極也ニ賛ニ一之付又

夜 ウレ

夜極也非夜ニ一之付人神不極

占 ウラ

一名の占一占士一ヤさん

一之占ハ一之占士人

占 ウラ

占ハ一之占士人

占ハ一之占士人

取 ウキ

一布取一取一之 父付字ニ白

取 ウキ

取ハ一之取一之付字ニ白

近 ウツ

近ハ一之近一之付字ニ白

占 ウラ

占ハ一之占一之付字ニ白

占 ウラ

占ハ一之占一之付字ニ白

之

付字三句

● 舟二 五十一 音二 ヘウモン

わくろ^二 意^一 七^二 百^一

一多 不 恨 二 万

忠二意ニ之
意のかゝるニ意の恨

七百五十一方多れハ二百五

字々 想 行 皮世

此乃二句云
一云不婦

當時ハ茲の方へ大概引く

子思子述懷之
子思子要人焉之

述懐 暮傷 亥 おのゝくへて二

毛呂一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、

品一嘉一月也之

浦山不怪

多双へ虫へ

ハク写七句後集後香亭

後寫二句

秋の字に

うしく 去くのとり

二合媛之 去つゝ不姫

大目二四六

しは二をてみ之打不短

ハニ
由
不
盡
及
其
の
一

不
如
也

山。二。三。四。

不恒

水力之

一萬二
▲賣四

遊駁 院二條二 劫四

轍 二条二 轍四

轍 二条二 轍四

轍 二条二 轍四

轍 二条二 轍四

轍 二条二 轍四

井 二条二 水也 付字二句

井 二条二 水也 付字二句

井 二条二 水也 付字二句

井 二条二 水也 付字二句

井 二条二 水也 付字二句

井 二条二 水也 付字二句

井 二条二 水也 付字二句

井 二条二 水也 付字二句

井 二条二 水也 付字二句

井 二条二 水也 付字二句

井 二条二 水也 付字二句

井 二条二 水也 付字二句

井 二条二 水也 付字二句

井 二条二 水也 付字二句

井 二条二 水也 付字二句

井 二条二 水也 付字二句

井 二条二 水也 付字二句

井 二条二 水也 付字二句

井 二条二 水也 付字二句

うらゝ＝折 暖＝二句 宋 不燃

法 尺蚕の法ニ又煮ニ一折ニ

は令の法ハ判音の義あり二之
尺蚕の法とは令の法ニ一也

能を丈人傷ニシテ半ツシ者ニ非人

能化非人 能能ホ皆折也

折 四ニ 右折ニ 底不月

おせ物 折ニ おるを 付字ニ句

○折の事ニ多非降 水柱高水ハ非水

○折の事ニ多非降 水柱高水ハ非水

折 字ニ多 原不燃又句 下ニ句ニ

牛ヲと相殺するめ也 柱地不燃

登 焼ハ云ニ 灰ニ 煮ニ 秋ニ 柱ニ

煮ニ 灰ニ 煮ニ 秋ニ 柱ニ

折 字ニ多 原不燃又句 下ニ句ニ

○折 煮ニ 二句ニ 煮ニ 煮ニ 煮ニ

延 四ニ 伸 氣伸 煮ニ 煮ニ 煮ニ

折 字ニ多 原不燃又句 下ニ句ニ

眼 一 煮ニ 二 人ニ 目ニ 眼ニ 二句

上 字ニ多 煮ニ 昇 双ニ 煮ニ

かゝあうう 人ニ 二句ニ (カ) (ウ)

折 字ニ多 煮ニ 煮ニ 煮ニ 煮ニ

折 字ニ多 煮ニ 煮ニ 煮ニ 煮ニ

折 字ニ多 煮ニ 煮ニ 煮ニ 煮ニ

折 字ニ多 煮ニ 煮ニ 煮ニ 煮ニ

折 字ニ多 煮ニ 煮ニ 煮ニ 煮ニ

折 字ニ多 煮ニ 煮ニ 煮ニ 煮ニ

折 字ニ多 煮ニ 煮ニ 煮ニ 煮ニ

唯一のくびく 呪ふ

拭 四と名乃古比 道二く

家 四く名家二句 一 四く

除 八くのみく 一 八く

〔施〕

家 一 五く人傷く 夫不姓又白より

極男 二 男姓人おく 非人男

男 二 生れ 一 極也 一 女とく 一 是

生れの内ハ牡麻さそ 雄多又さ

男 和名 平乃古 夫 和名 平宇止

又平止古 いうる男口のと之御とも

古キあま 又國のたぢ 如多 一の

との下 けし 一 ちうりせ 和名

男 和名 男擬之 男和 男和 やさ男

親 一 非述 附親の内 一 夫 人傷く

けし 一 世也 一 男れ 子 二 句 呪不

親子と續てハ述懐之人傷く 一 族と

親親房と云 非述 人 鉄架親也

老 二 述懐く 又 けし 一 極也 一 男

老 二 句 一 男あのをし 又 同

老 二 白髪 既のち 眉 髻 男の老七句

後のは 雪 霜 お三句 付字三句

意句の白髪ハ二句 日本紀 於 喻

痛 一 人傷く 述懐 炭物の内 又 一

非述 痛さび 淋七句 和名 於 政宗

万 人傷く むの男ハ家之 和名 於 宇止

乙 女 人傷く 天乙 女 非人 和名 於 止

し 子 朔日 十二月 乙 乙の字 男く

ハモテ

出 頼 足 間 燈 かりとをさる

ハモテ

面 秋 子 雲 の 月 一 之 夢 夢 夢 夢

オモ

尚 の 夢 何 ぞ 思 へ 思 へ 思 へ 思 へ

何 の 夢 も 思 へ 思 へ 思 へ 思 へ

表 八 之 夢 衣 紙 林 山 本 心 夢

夢 一 之 夢 夢 夢 夢 夢 夢 夢

表 の 字 八 陰 ひ 夢 夢 夢 夢 夢 夢

夢 の 字 八 何 夢 夢 夢 夢 夢 夢

夢 紙 の 夢 夢 夢 夢 夢 夢 夢 夢

と 夢 夢 夢 夢 夢 夢 夢 夢 夢

月 夢 夢 夢 夢 夢 夢 夢 夢 夢

夢 八 之 表 夢 夢 夢 夢 夢 夢

夢 八 之 表 夢 夢 夢 夢 夢 夢

夢 八 之 表 夢 夢 夢 夢 夢 夢

夢 八 之 表 夢 夢 夢 夢 夢 夢

夢 八 之 表 夢 夢 夢 夢 夢 夢

夢 八 之 表 夢 夢 夢 夢 夢 夢

夢 八 之 表 夢 夢 夢 夢 夢 夢

夢 八 之 表 夢 夢 夢 夢 夢 夢

夢 八 之 表 夢 夢 夢 夢 夢 夢

夢 八 之 表 夢 夢 夢 夢 夢 夢

夢 八 之 表 夢 夢 夢 夢 夢 夢

夢 八 之 表 夢 夢 夢 夢 夢 夢

夢 八 之 表 夢 夢 夢 夢 夢 夢

夢 八 之 表 夢 夢 夢 夢 夢 夢

夢 八 之 表 夢 夢 夢 夢 夢 夢

夢 八 之 表 夢 夢 夢 夢 夢 夢

夢 八 之 表 夢 夢 夢 夢 夢 夢

夢 八 之 表 夢 夢 夢 夢 夢 夢

夢 八 之 表 夢 夢 夢 夢 夢 夢

夢 八 之 表 夢 夢 夢 夢 夢 夢

清 兵 二 女 二 日 中 紀 於 屋 宇 比

職 一 松 乃 女 一 小 せ 地 一 一 名 古 比 里

佩 一 一 二 一 第 一 面 糸 若 糸 元 毛 乃

第 二 非 衣 小 せ 地 一 一 有 字 乃 若 若 若

第 一 第 一 山 田 第 一 肌 第 一 下 第 一

第 一 第 一 第 一 第 一 第 一 第 一 第 一

送 一 一 一 一 送 火 秋 一 一 若 若 若 若

衰 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一

落 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一

一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一

一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一

一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一

一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一

一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一

一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一

一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一

一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一

一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一

一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一

一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一

一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一

一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一

一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一

一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一

一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一

一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一

一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一

一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一

一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一

一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一

一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一

一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一

将ふぬ外二方之内より發せ

の時ハちと_二折_一之ヲ起_二心ハ起_一之ヲ

侵
 四
 入
 帳
 之
 重
 四
 之

之果二百
▲俾二之

述唐文

▲名非人

笑

あふ二あふ二之
訓音の表

玉の石と名ふと又裁短 付字 三石

去歲也折之倉庫也同 附字三百

唐一衡中一秋入抄名久如和

串松お二玉串の系持代た二

子振振也之振振也

聲單八車西子二万附字二万

大車羊麻中子八法

井戸の上は大内と元とを
とく心よりとくアローを
二句

雲の林 名不之非極。雲を入る云に

○雲尺草 夏之極西之尺三寸

種
のて
子孫
之

起落弦下極也哉姪新之不振

子玄之移瘡至外不

華極地 子村二勺

孝子 孝子 孝子 孝子 孝子

下馬以爲喜之
第の立決て
車中の一に虎也

東を
等分
世の
臣中
多古

以之於之
後為崇信
史也

人傷之者二方州二西極二城臣

○系之斯非人至斯極也

子の戸
 子の戸
 子の戸
 非性述

皆居而之
子之居而
哉遠非極

草造
極地へ
安とすれハ和ふへ

東の邊と西の邊も同く
皆非族

事の枕 非極 事と枕ハ極也

去
長
之
共
三
族
之

香
檀
合
衣
衣
名久次

厚苔亦苔の毛玉を苔芝之根之

一 拾 六 卷 之 梁 三 十 一
 危 一 拾 六 卷 之 梁 三 十 一

新入 付字ハ三ノ
心者ハ皮

材弓 陽秋 隆冬 未嘗 乃冬 五之

葉の門述懐之ヨ 葉所之カ

於地
一
新之
了是
於地
二

新々々々又本堂白紙之

栗一社ノ楮栗ニ類ノ材ニ

栗毛栗ニホニノナリ 竹字三句

栗一音ニノ栗玉ニ 栗盤ホニノ

いかりノ 此栗と云付ナリて之

菓子ニ之 栗日栗玉栗近ホ麦ノ

栗振秋ノ栗喰みノ 栗師ハ面

栗師 非人 栗者ハ人傷ノナリ

冷ニ 四ノナリノ生れニ之 小せねニ之

何ホノ 喰也 成時ハ 栗と持モ

ニ 作とのノノ 非極生水ニ

口 人の口四ノ唇面ノ外ノ口ハ字云

及冷飲ホノナリ不付。茶の品切冬ノ

口吸口紅粉口泥 口苦 口重口ホ之

頭 一ノ生れニノノ又ニ

水 水也ノ麦ノ栗ノ之 和名タノ栗

鯨 冬ノ鯨の麦ノ性文ヲ和名又知

協 一栗も難ノ亮ニ 一ノ栗ノ

協 非生人ニナリ云 竹字ハ

犯 氣ニ一ニ生れ一ノ矩の上ニ

。應犯 丈和男和女和 西和ホ之

又位 非人 偽官も同ナリ 人傷ニ

。あノ位ニ一ノ 当代のノを替

二ノ 競 非非 江家次方ニ

席競ニ け乃随侍及行厨ニ

。傷方奏樂抄舞ニ 上下ニ

。笑茂の競ニハ神祇ノ麦ニ

一 秋ノ 秋ノナリノホ之和名ノ

降 下双ノ字云ノ 竹字四ノ

二ノ 二ノ不むニノ 竹字二局

拾 二ノ 一ノ中ノ又

調
湖

